

令和3年8月27日開会

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

令和3年第3回

杵築市議会定例会（別冊）

（経営状況報告書）

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

経営状況報告書

報告第18号 一般財団法人杵築市総合振興センターの経営状況
について - 2 ページ -

報告第19号 公益社団法人杵築市地域活性化センターの経営状
況について - 21 ページ -

報告第20号 株式会社きっとすきの経営状況について
- 53 ページ -

令和3年度

一般財団法人杵築市総合振興センター
事業計画書

令和3年度事業計画書

1. ふるさと便事業

ふるさと杵築にゆかりのある方々にお中元、お歳暮時季の年2回、「ふるさときつきの味と香り便り」として発送します。

商品は、「温泉うなぎ蒲焼」や「きつき紅茶」、「りゅうきゅう」等の杵築ブランド認定商品や「牛肉」や「はも」といった杵築の特産品を中心に年間1,000件の発送を目指します。

令和2年度実績 959件(元年度886件、30年度1,005件)

コース	令和2年7月	件数	令和2年12月	件数
Aコース	きつき茶水出し煎茶(5g×20)、きつき紅茶水出しブレンド(40g)、豊後國杵築かぼす味噌(150g)、杵築名物みそまんじゅう(9個)、ぼんかんコンフィチュール(140g)、サクラ醤油(150ml)、しいたけ玉ねぎドレッシング(200ml)、絆屋のりゅうきゅうたれ(260ml)	103	温州みかん(1kg)、きつき茶煎茶(60g)、きつき紅茶べにふうきティーバッグ(2g×12)、智恵美人純米酒(300ml)、アンコールコンフィチュール(140g)、味噌(900g)、三色まんじゅう(6個入り)、椎茸どんこ(50g)	107
Bコース	ハウスみかん(秀20～30玉)	167	ハウス美娘(2.5kg)	108
Cコース	ちえびじん純米酒(720ml×1)、レモンティーリキュール(72ml×1)	11	ちえびじん純米酒(720ml×1)、ちえびじん純米吟醸山田錦(720ml×1)	26
Dコース	ぶりゅうきゅう漬(80g×2)、真鯛りゅうきゅう漬(80g×2)、真あじりゅうきゅう漬(80g×2)、真さばりゅうきゅう漬(70g×2)、練りわさび(2.5g×8袋)	30	骨切りハモ切身(300g)、車海老(100g)、もみじおろし(5g×4)、出し昆布(1枚)、カボスポン酢(70ml)	69
Eコース	温泉うなぎ蒲焼(70g×3パック)、たれ・山椒(3袋)	88	温泉うなぎ蒲焼(70g×3パック)、たれ・山椒(3袋)	54
Fコース	豊後牛肩ロース(400g)	105	豊後牛肩ローススライス(400g)	91
計		504		455

2. 杵築ふるさと産業館管理運営事業

杵築ふるさと産業館は平成8年に開店し以来20年以上が経過しました。平成18年度から当法人が市の指定管理を受け管理運営を行っており、新たに令和2年度から令和4年度までの指定管理を受託しています。

本施設は、杵築市の特産品を市内外のお客様に紹介・販売することや、観光情報の発信を行うことによる観光客の増加を目的として、これまで運営してきました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の発生以降、観光客等が激減し、大幅な減益の見込みとなっており、今後の見通しも不透明です。

社会情勢を見極めながら、市や観光協会等と連携し、収益確保に向けた取り組みを展開していきます。

令和2年度各種実績(R3.2月末時点)

内容	数	単位
観光バス	(日本)	104 台
	(中国・韓国他)	4 台
	乗車人数	1,614 人
レジ通過者数	7,754	人
受託販売業者数	70	業者
受託販売取扱商品数	785	品

令和2年度売上(R3.1月末時点)

内容	売上金額(円)
ふるさと産業館総売上	14,987,013
(内受託販売による売上額)	11,611,579
(内仕入販売による売上額)	3,375,434

3. ケーブルテレビ事業

①魅力的な番組づくりによる杵築市の発展への寄与

平成24年度から、杵築市よりケーブルテレビの番組制作の委託を受け、平成29年度からはその内容を拡充し、伝送路の保守管理等も行ってまいりました。

これまでの受託内容を評価され、平成31年度からはケーブルテレビ業務の指定管理者に指名されることとなりました。これを受け、更に業務への邁進を図ってまいります。

(1)積極的な地域情報の発信と、経営基盤の強化

市からケーブルテレビの指定管理を受けるにあたり、将来的な人口減に対応するため、広告費等による経営改善を求められています。

これまでも、視聴者に満足いただけるよう番組内容の見直しを行ってまいりましたが、広告費を出しても良いと思っただけのような、更に魅力的な番組作りを行います。

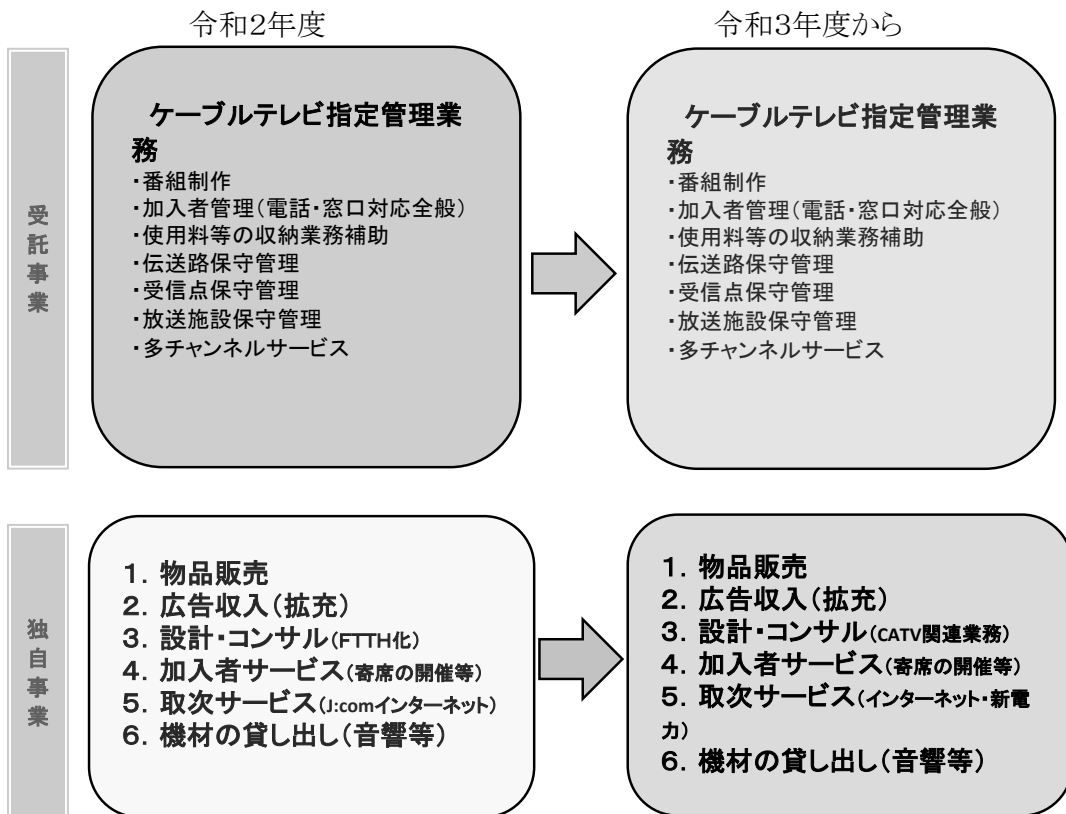
具体的には、市内の時期を的確にとらえたイベントやお店の紹介、また、市外の情報を県内ケーブル局と協力しながら配信していきます。

(2)番組制作技術力の充実・強化

昨年度は、スタッフにドローン講習等を行いました。平成31年度も研修等を通じて、更なるスキルアップに努めます。

②ケーブルテレビ事業部門の運営基盤強化の取り組み

平成31年度からケーブルテレビの指定管理を受けることになり、更なる経営基盤の強化を目指します。もちろん公営のケーブルテレビですので、あくまで市及び市民の皆様の公共サービスとしての範囲内ですが、物品の貸し出しや、民間からの番組制作の受託等を目指します。



令和3年度

一般財団法人杵築市総合振興センター
予 算 書

令和3年度当初予算

(総則)

第1条 令和3年度当初予算は、次に定めるところによる。

(収益的収入及び支出)

第2条 収益的収入及び支出の予算額を次のとおり定める。

		収	入	
第1款	事業収益	276,609	千円	
第2款	事業外収益	391	千円	
	計	277,000	千円	

		支	出	
第1款	事業原価	273,526	千円	
第2款	管理費	3,473	千円	
第3款	予備費	1	千円	
	計	277,000	千円	

令和3年度予算実施計画

[収 入]

(単位:千円)

款	項	金 額
1.事業収益		276,609
	1.ふるさと便事業収益	5,000
	2.杵築ふるさと産業館売上手数料	3,000
	3.杵築ふるさと産業館販売収益	6,360
	4.受託料	225,000
	5.家賃収入	1,248
	6.施設使用料	1
	7.ケーブルテレビ事業収益	36,000
2.事業外収益		391
	1.受取利息	1
	2.雑収益	90
	3.手数料	300
収 入 合 計		277,000

[支 出]

(単位:千円)

款	項	金 額
1.事業原価		273,526
	1.ふるさと便事業費	4,602
	2.杵築ふるさと産業館事業費	12,924
	3.ケーブルテレビ事業費	256,000
2.管理費		3,473
	1.一般管理費	3,072
	2.福利厚生費	80
	3.法定福利費	320
	4.雑損失	1
3.予備費		1
	1.予備費	1
支 出 合 計		277,000

令和3年度

一般財団法人杵築市総合振興センター
予算に関する説明書

令和3年度当初予算説明書

[収入]

(単位:千円)

款	項	目	予算額	節		前年度予算額
				区分	金額	
1.事業収益			276,609		276,609	339,249
	1.ふるさと便事業 収益		5,000		5,000	4,500
		1.売上	5,000	1.売上	5,000	4,500
	2.杵築ふるさと産業 館売上手数料		3,000		3,000	3,780
		1.売上手数料	3,000	1.売上手数料	3,000	3,780
	3.杵築ふるさと産業 館販売収益		6,360		6,360	6,720
		1.売上	6,360	1.売上	6,360	6,720
	4.受託料		225,000		225,000	225,000
		1.受託料	225,000	1.受託料	5,000	5,000
				(ふるさと産業館)		
				(ケーブルテレビ事業委託料)	220,000	220,000
				(ケーブルテレビ番組制作等)		
				(ケーブルテレビ伝送路保守管理)		
				(ケーブルテレビ受信点等定期点検)		
	5.家賃収入		1,248		1,248	1,248
		1.家賃収入	1,248	1.家賃収入	1,248	1,248
	6.施設使用料		1		1	1
		1.施設使用料	1	1.施設使用料	1	1
	7.ケーブルテレビ 事業収益		36,000		36,000	98,000
		1.売上	33,000	1.売上	33,000	95,000
		2.広告収入	3,000	2.広告収入	3,000	3,000
2.事業外収益			391		391	411
	1.受取利息		1		1	1
		1.受取利息	1	1.受取利息	1	1
	2.雑収益		90		90	110
		1.雑収益	90	1.雑収益	90	110
	3.手数料		300		300	300
		1.手数料	300	1.手数料	300	300
収入合計			277,000		277,000	339,660

[支 出]

(単位:千円)

款	項	目	予算額	節		前年度予算額
				区 分	金 額	
1.事業原価			273,526		273,526	335,679
	1.ふるさと便事業費		4,602		4,602	4,223
		1.ふるさと便事業費		9.消耗品費	40	50
				12.印刷製本費	20	21
				15.通信運搬費	1,000	960
				17.手数料	12	12
				23.特産品購入費	3,500	3,150
				27.公課費	30	30
	2.杵築ふるさと産業館事業費		12,924		12,924	13,456
		1.杵築ふるさと産業館事業費		2.給料	6,400	6,566
				9.消耗品費	30	50
				10.燃料費	40	40
				13.光熱水費	1,224	1,500
				23.仕入	4,680	4,800
				27.公課費	550	500
	3.ケーブルテレビ事業費		256,000		256,000	318,000
		1.ケーブルテレビ事業費		2.給料	55,000	46,000
				6.報償費	100	500
				7.旅費	2,000	2,500
				9.消耗品費	900	600
				10.燃料費	250	300
				11.会議費	200	200
				12.印刷製本費	1,500	1,500
				14.修繕料	500	1,000
				15.通信運搬費	3,000	2,500
				16.広告料	1,500	1,500
				17.手数料	1,000	1,000
				18.保険料	1,500	1,000
				19.委託料	20,000	25,000
				20.使用料及び賃借料	18,000	22,000
				21.工事請負費	55,000	100,000
				24.備品購入費	3,000	7,000
				25.負担金補助及び交付金		0
				27.公課費	12,000	15,000
				29.雑費	1,500	1,500
				31.福利厚生費	800	1,500
				32.法定福利費	8,500	8,000
				33.番組制作費	1,000	1,200
				34.退職金積立費	500	700
				35.番組使用料	47,000	50,000
				36.水道光熱費	12,000	25,000
				37.仕入	7,000	0
				38.交際費	400	0
				39.予備費	1,850	2,500

[支 出]

(単位:千円)

款	項	目	予算額	節		前年度予算額
				区 分	金 額	
2.管理費			3,473		3,473	3,980
	1.一般管理費		3,072		3,072	3,529
		1. 経費		7.旅費	1	1
				8.交際費	60	60
				9.消耗品費	100	200
				11.会議費	10	15
				12.印刷製本費	1	1
				14.修繕料	200	200
				15.通信運搬費	100	110
				16.広告料	10	30
				17.手数料	80	100
				18.保険料	40	19
				19.委託料	769	742
				20.使用料及び賃借料	1,260	1,480
				21.工事請負費	1	1
				24.備品購入費	1	1
				25.負担金補助及び交付金	52	52
				27.公課費	100	150
				29.雑費	31	70
				30.減価償却費	256	297
	2.福利厚生費		80		80	80
		1. 福利厚生費		31.福利厚生費	80	80
	3.法定福利費		320		320	370
		1. 法定福利費		32.法定福利費	320	370
	4.雑損失		1		1	1
		1. 雑損失		1.雑損失	1	1
3.予備費			1		1	1
	1.予備費		1		1	1
		1. 予備費		30.予備費	1	1
支 出 合 計			277,000		277,000	339,660

令和2年度

一般財団法人杵築市総合振興センター
事業報告書

I. 事業概要

当法人の主な事業は、①ふるさと便事業、②杵築ふるさと産業館事業、③ケーブルテレビ事業の3事業である。

3事業を合わせた法人全体の収支は、収入385,857,667円に対し、支出360,087,189円であり、25,770,478円の差益となった。

①ふるさと便事業

年2回募集のうち、7月に504件、12月に455件の計959件を発送した。発送商品ごとの件数は、以下の表のとおりである。収入4,795,000円に対し、支出4,419,110円であり、375,890円の差益となった。

コース	7月	件数	12月	件数
Aコース	きつき紅茶水出しブレンド(40g)、きつき茶水出し煎茶(5g×20)、ぼんかんコンフィチュール(140g)、絆屋のりゅうきゅうのたれ(260ml)、サクラ醤油(150ml)、しいたけ玉ねぎドレッシング、みそまんじゅう(9個)	103	温州みかん(1kg)、きつき茶煎茶(60g)、きつき紅茶ベにふうきティーバック(2g×12)、味噌(900g)、どんこしいたけ(50g)、智恵美人純米酒(300ml)、三色まんじゅう(6個入)、アンコールコンフィチュール(140g)	107
Bコース	ハウスみかん(秀20玉～35玉)	167	ハウス美娘(2.5kg)	108
Cコース	ちえびじん純米酒、レモンティーリキュールセット	11	ちえびじん純米酒、ちえびじん純米吟醸山田錦セット	26
Dコース	ぶりりゅうきゅう漬け 80g×2袋、真鯛りゅうきゅう漬け 80g×2袋、真あじりゅうきゅう漬け 80g×2袋、真さばりゅうきゅう漬け 70g×2袋、練りわさび 2.5g×8袋	30	骨切りハモ切身(300g)、車海老(100g 5～6尾)、もみじおろし、出し昆布、カボスポン酢	69
Eコース	温泉うなぎ蒲焼(70g×3パック)、タレ・山椒(3袋)	88	温泉うなぎ蒲焼(70g×3パック)、タレ・山椒(3袋)	54
Fコース	山香産焼肉用ロース(400g)	105	大分豊後牛すき焼き用スライス(400g)	91
計	—	504	—	455

②杵築ふるさと産業館事業

収入については、70業者及び個人からの商品を受託販売する売上手数料収益2,295,890円、直接仕入れによる販売収益3,763,348円、本館・別館・農畜産物加工センターでの5事業者分(食事処2業者、喫茶、市観光協会、栲きつとすき)の家賃収入1,245,000円のほか、事業外収益297,506円、受託料5,000,000円を含め、計12,601,744円である。一方、支出については、ふるさと産業館事業費10,962,647円、管理費3,461,569円の計14,424,216円であり、1,822,472円の差損となった。

③ケーブルテレビ事業

収入については、受託料収益170,000,000円、ケーブルテレビ事業収益198,028,414円のほか、事業外収益432,509円を含め、計368,460,923円である。一方、支出については、ケーブルテレビ事業費341,243,863円であり、27,217,060円の差益となった。

令和2年度

一般財団法人杵築市総合振興センター
財務諸表

貸借対照表

2021年3月31日現在

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	96,225,591	68,956,765	27,268,826
売掛金	20,957,985	7,571,372	13,386,613
商品(棚卸資産)	3,459,975	280,941	3,179,034
立替金	6,000	0	6,000
仮払金	0	0	0
前払費用	3,073,000	22,000	3,051,000
未収金	216,221	159,745	56,476
流動資産合計	123,938,772	76,990,823	46,947,949
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
(2) 特定財産			
(3) その他の固定資産			
建物附属設備	854,011	854,011	0
機械装置	2,530,000	0	2,530,000
車両運搬具	1,226,200	695,080	531,120
備 品	9,198,324	8,699,584	498,740
一括償却資産	159,086	159,086	0
減価償却累計額	△5,506,990	△3,094,061	△2,412,929
(有形固定資産)	8,460,631	7,313,700	1,146,931
保証金	100,000	270,000	△170,000
積立配当金	1,480	0	1,480
預託金	7,500	0	7,500
(投資その他の資産)	108,980	270,000	△161,020
固定資産合計	8,569,611	7,583,700	985,911
資産合計	132,508,383	84,574,523	47,933,860
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	52,014,767	40,542,398	11,472,369
未払金	4,503,467	3,677,526	825,941
未払消費税	4,924,900	3,500,500	1,424,400
前受金	4,581,650	17,000	4,564,650
預り金	2,843,141	2,008,587	834,554
仮受金	32,000	13,200	18,800
流動負債合計	68,899,925	49,759,211	19,140,714
負債合計	68,899,925	49,759,211	19,140,714
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
基本財産	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	63,608,458	34,815,312	28,793,146
正味財産合計	63,608,458	34,815,312	28,793,146
負債及び正味財産合計	132,508,383	84,574,523	47,933,860

正味財産増減計算書
(2020年4月1日から2021年3月31日まで)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① ふるさと便事業収益	4,795,000	4,430,000	365,000
② 手数料収益	2,540,843	3,687,320	△1,146,477
③ 受託料収益	175,000,000	215,000,000	△40,000,000
④ 杵築ふるさと産業館販売収益	3,763,348	4,789,855	△1,026,507
⑤ ケーブル売上	195,539,440	45,386,626	150,152,814
⑥ ケーブル広告収入	2,488,974	2,030,100	458,874
経常収益合計	384,127,605	275,323,901	108,803,704
(2) 経常費用			
① 事業費			
給料手当(産業館)	6,193,200	6,407,580	△214,380
仕入(産業館)	6,287,769	6,760,703	△472,934
消耗品費(産業館)	76,070	124,168	△48,098
燃料費(産業館)	30,550	35,590	△5,040
印刷製本費(産業館)	18,546	18,654	△108
水道光熱費(産業館)	1,282,448	1,458,512	△176,064
通信運搬費(産業館)	946,045	878,001	68,044
手数料(産業館)	11,329	8,690	2,639
公課費(産業館)消費税	535,800	443,200	92,600
給料手当(ケーブル)	50,904,493	42,927,554	7,976,939
報償費(ケーブル)	54,000	256,500	△202,500
仕入(ケーブル)	10,098,487	0	10,098,487
旅費(ケーブル)	1,390,310	1,655,300	△264,990
消耗品費(ケーブル)	1,022,115	1,008,928	13,187
燃料費(ケーブル)	250,132	272,966	△22,834
会議費(ケーブル)	154,446	17,495	136,951
印刷製本費(ケーブル)	1,859,425	1,228,826	630,599
修繕費(ケーブル)	895,673	594,000	301,673
通信運搬費(ケーブル)	2,344,245	2,443,863	△99,618
広告料(ケーブル)	1,972,524	959,613	1,012,911
手数料(ケーブル)	1,076,575	720,791	355,784
保険料(ケーブル)	1,129,350	840,050	289,300
委託料(ケーブル)	20,519,368	17,783,520	2,735,848
使用料及び賃借料(ケーブル)	17,375,826	16,484,075	891,751
備品購入費(ケーブル)	4,140,332	2,126,140	2,014,192
工事請負費(ケーブル)	132,458,794	74,743,170	57,715,624
公課費(ケーブル)	10,709,581	11,917,883	△1,208,302
雑費(ケーブル)	2,316,596	1,034,507	1,282,089
福利厚生費(ケーブル)	1,189,616	805,220	384,396
法定福利費(ケーブル)	8,208,101	6,606,015	1,602,086
交際費(ケーブル)	905,923	0	905,923
番組制作費(ケーブル)	5,827,249	524,402	5,302,847
退職金積立金(ケーブル)	562,000	506,680	55,320
光熱水費(ケーブル)	14,791,225	17,144,885	△2,353,660
番組使用料(ケーブル)	46,978,454	50,231,762	△3,253,308
減価償却費(ケーブル)	2,109,023	1,516,344	592,679
② 管理費			
法定福利費	312,667	305,359	7,308
福利厚生費	45,423	119,487	△74,064
通信運搬費	83,381	97,998	△14,617
接待交際費	23,100	33,000	△9,900
修繕費	79,650	266,145	△186,495
印刷製本費	0	11,880	△11,880
使用料	1,444,251	1,355,865	88,386
会議費	9,810	5,125	4,685
広告宣伝費	0	22,644	△22,644
委託料	768,020	735,078	32,942
負担金	52,000	52,000	0
消耗品費	184,272	278,897	△94,625
租税公課	78,204	46,355	31,849
保険料	18,260	39,640	△21,380
減価償却費	303,906	288,772	15,134
雑費	58,625	385,095	△326,470
工事請負費	0	0	0
経常費用計	360,087,189	274,528,927	85,558,262
当期経常増減額	24,040,416	794,974	23,245,442

科 目	当年度	前年度	増 減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
雑収益	1,727,798	2,684,234	△956,436
受取利息	2,264	1,110	1,154
経常外収益合計	1,730,062	2,685,344	△955,282
(2) 経常外費用			
経常外費用合計	0	0	0
当期経常外増減額	1,730,062	2,685,344	△955,282
当期一般正味財産増減額	25,770,478	3,480,318	22,290,160
前期損益修正益	3,022,668	0	3,022,668
一般正味財産期首残高	29,815,312	26,334,994	3,480,318
一般正味財産期末残高	58,608,458	29,815,312	28,793,146
II 指定正味財産増減の部			
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	58,608,458	29,815,312	28,793,146

財 産 目 録

2021年3月31日現在

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
現金手許有高	743,487	
普通預金 大分銀行杵築支店	2,616,593	
No.143275		
大分県農協杵築支店	728,605	
No.9514201		
大分県農協杵築支店	1,223,723	
No.2518		
大分銀行杵築支店	75,285,898	
No.7531284		
大分県農協杵築支店	5,676	
No.0105905		
大分県信用組合杵築支店	270,888	
No.0267247		
大分銀行杵築支店	10,000	
No.7551886		
豊和銀行杵築支店	10,000	
No.1113812		
郵便局	0	
No.1960021676		
定期預金 大分県農協杵築支店	5,000,000	
No.568988		
定期預金 大分銀行	3,330,211	
No.6011932		
定期預金 大分県農協杵築支店	3,000,340	
No.09319592		
定期預金 大分県信用組合杵築支店	1,000,085	
No.0736961		
大分県信用組合杵築支店	1,000,085	
No.0736953		
大分県信用組合杵築支店	1,000,000	
No.0742978		
豊和銀行杵築支店	1,000,000	
No.1045295		
売掛金	20,957,985	
棚卸資産	3,433,475	
貯蔵品	26,500	
立替金	6,000	
仮払金	0	
前払費用	3,073,000	
未収金	216,221	
流動資産合計		123,938,772
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
(2) 特定財産		
(3) その他の固定資産		
有形固定資産合計	8,460,631	
その他の資産	108,980	
固定資産合計		8,569,611
資産合計		132,508,383
II 負債の部		
1. 流動負債		
買掛金	52,014,767	
未払金	4,503,467	
未払消費税	4,924,900	
前受金	4,581,650	
預り金	2,843,141	
仮受金	32,000	
流動負債合計		68,899,925
2. 固定負債		
固定負債合計		
負債合計		68,899,925
正味財産		63,608,458

基本金明細書表

(単位:円)

区 分	出 捐 団 体	出 捐 額	摘 要
基 本 金	杵築市ほか	5,000,000	
計		5,000,000	

有形固定資産明細表

(単位:円)

資産種類	取得原価 A	当期増加額 B	当期減少額 C	期末残高 (A+B+C) D	当期減価 償却額 E	減価償却 累計額	差引期末 残高	摘要
建物附属	854,011	0	0	854,011	170,802	270,436	583,575	旧農畜産加工センター内造作の買取費(産業館)
車両運搬具	695,080	0	0	695,080	6,950	667,276	27,804	公用車(産業館)
備品	189,000	0	0	189,000	0	188,999	1	コインロッカー(産業館)
備品	901,584	0	0	901,584	126,154	648,892	252,692	別館エアコン2台(産業館)
備品	691,200	0	0	691,200	138,240	288,000	403,200	カメラ・マイク(ケーブル)
備品	1,771,200	0	0	1,771,200	354,240	738,000	1,033,200	カメラ(ケーブル)
備品	2,592,000	0	0	2,592,000	518,400	1,080,000	1,512,000	防犯カメラ2台(ケーブル)
備品	1,306,800	0	0	1,306,800	261,360	544,500	762,300	ODAデータバックアップシステム(ケーブル)
備品	928,800	0	0	928,800	185,760	371,520	557,280	融着機(ケーブル)
備品	319,000	0	0	319,000	63,800	69,116	249,884	PC デザイン用(ケーブル)
一括償却資産	159,086	0	0	159,086	53,028	106,056	53,030	PC CAD用(ケーブル)
備品	296,120	0	0	296,120	118,448	118,448	177,672	PC 制作用(ケーブル)
備品	202,620	0	0	202,620	54,032	54,032	148,588	PC 制作リモート用(ケーブル)
機械装備	2,530,000	0	0	2,530,000	140,415	140,415	2,389,585	RMP装置(ケーブル)
車両運搬具	531,120	0	0	531,120	221,300	221,300	309,820	スズキアルト(ケーブル)
合計	13,967,621	0	0	13,967,621	2,412,929	5,506,990	8,460,631	

令和3年度事業計画書

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

公益社団法人杵築市地域活性化センター

令和3年度事業計画書

・基本方針

杵築市の農業は、高齢農家及び兼業農家により支えられた農業であるが、今後も農業従事者の高齢化に伴い離農や規模縮小が予測されるなか、担い手不足が深刻化している。

地域住民は、地域農業の維持管理や農業経営及び将来的な発展、継続を憂慮し、また、地域全体の活性化や集落自体の限界化に不安を抱えており、支援は喫緊の課題である。

こうしたなか、これまで限られた中核農家は、農地所有者の土地保有の志向性の強さにより、農地集積が顕著に進展しないまま推移し、更に一時的投資及び労働者不足等で育ち難い状況にあった。

この様な厳しい状況下で、農家の創意と工夫による経営改善の誘導をするものの、個人的な改善のみでは自ずと限界があった。

このため、この法人は、公益法人として不特定多数の者の利益の増進に寄与することを基本とし、長期展望に立った農地の流動化を推進するとともに、高性能機械や施設に対する投資の軽減、農作業の受委託等の支援、農業の分業化及び都市と農村との交流を実践し、もって効率的かつ生産性の高い農業及び地域活性化の実現を図ることを目的とする。そして杵築市農業の中核となり、魅力・やりがいのある農業を目指し、支援・振興を図ることとする。

その方策として、農地利用集積円滑化事業並びに、農地保全管理事業並びに、高次元農業推進事業並びに、担い手育成支援事業で構成する公益目的事業を実施する。

また、地域の景観並びに自然・生活環境を保全のため、過疎地域の集落等に対する生活道路維持管理、地域美化活動等の住民サービスマ等々の取り組みを、収益事業と位置づけ実施する。

実施する多岐にわたる事業は、その受益の大半が、小規模集落等の山間地の狭隘農地、分散農地など条件不利地域であり、作業効率等が極めて悪い。しかし、この法人は、農業福祉的役割を担いながら、地域農業の振興と過疎地域の支援を図ることにより、国土の保全及び自然・生活環境の保全、災害の防止等につながる。ひいては地域全体にその影響が及ぶ重要な役割を担っていると考え、使命として積極的に活動する。

1. 公益目的事業（令和3年度内訳）

一 農地利用集積円滑化事業一

農業生産の基盤となる優良農地を確保・有効活用のため、効率的かつ安定的な農業経営を営むものに対する農地の利用と集積の円滑化を図り、農村地域の秩序ある土地利用に努める。

農地中間管理事業の推進に関する法律の一部改正による農地バンク統合一体化に伴い、農地利用集積円滑化団体として新たな貸付業務などは行えないため、農地バンク事業への権利及び義務の継承を行うとともに、引き続き地域の農地の利用調整役を担い中間管理機構への集積に協力し、面的な農地利用の再編成に努めていく。地域農業経営サポート機構でも、担い手不在地域及び農地相談の大半を占める条件不利地域等では、連携員を中心とした農地の集積を目指し、農地の荒廃化抑制等に努める。

取り扱う事業別では、本年末が農地の利用期間満了となる農地所有者代理事業1件、農地売買等事業4案件は借り手が高齢の方もあるため、今後の意向等を年度当初より情報収集し、中間管理機構への移行・誘導に向け取り組む。

農地の利用調整（地域農業経営サポート機構活動分含む）

農地中間管理機構への移行・誘導 計5件 1.72ha

5件 1.72ha 更新 農地所有者代理事業及び農地売買等事業R3.12.31終了分の相談対応後→中間管理機構が農家間の貸借をマッチング

一 農地保全管理事業（農作業受託業務）一

農作業受託業務は、米価低迷・高齢化・害獣や病害虫被害等による離農が進み、主に水稻の作付け面積の縮小により水稻基幹作業を始めとする作業受委託量が軒並み減少傾向にある。このため前年度実績の受託量を維持すべく畦塗り機の整備を図るとともに、圃場・畦畔管理に資するため、フレールモアの更新、ウイングモアの導入を行い積極的に転作田作業や新規作業の確保に努めていく。

地域農業経営サポーター機構育成事業は、サポーター機構としての任を継続し、新人職員の育成に注力するとともに、コロナ禍にあっても連携員の状況把握に努め、連携員間での作業受委託や資材の共同購入を促進し、また、県・市と連携した研修会の実施等を通じて情報提供を図り、畦畔管理の省力化に向け除草作業やセンチピードグラス利用を推進するなどの事業を実施する。

一 農作業受委託支援計画（面積基準）一

種別	前年度実績 見込み (ha)	受託等計画												備考			
		面積 (ha)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月		
水稻準備作業	13.93	9.75			→												荒田耕起、荒水取り、植代掻き
畦塗り	12730m	17000m	→														
田植え	17.30	20.00			→												除草散布8.0ha、肥料散布3ha
水稻収穫	31.30	34.00						→									予約20ha、通常10.0ha、湿3ha、飼1ha
農薬散布(麦含む)	323.78	370.00	→					→									①100ha、②270ha、麦5ha
転作田等除草	3.35	5.35						→									フレール、ハンマー、刈払機(365h)
その他農作業支援	3.16	5.00						→									転作田耕起、PD、深耕ローリ-溝掘
土壌改良材散布	12.50	20.00															ニッケルG-200袋
堆肥散布	20.30	56.60															配達散布1900袋、秘運搬受託200㎡
森林組合委託業務	3件	4件															ネット張り、植栽作業等
林道豊後高田大田線外除草	30000㎡	30000㎡							→								豊後高田山香線、外3路線
竹林再生事業	2件	5件															

※農作業受委託合計(面積要件のみ) 520.7ha(前実見込比106.3%)

一 育苗計画

高次元農業推進事業は、前年7月の低温や日照不足、ウシカの大発生により大分県の米の作況指数が77と、全国で2番目に悪い数値となり、高齢化や後継者不足をより深刻化させる要因となる恐れがある。

野菜、花き作物についての悪い数値と、高齡化や後継者不足をより深刻化させる要因となる恐れがある。野菜、花き作物についての悪い数値と、高齡化や後継者不足をより深刻化させる要因となる恐れがある。野菜、花き作物についての悪い数値と、高齡化や後継者不足をより深刻化させる要因となる恐れがある。野菜、花き作物についての悪い数値と、高齡化や後継者不足をより深刻化させる要因となる恐れがある。

前年、ウイロスの発生のために生産中止になったヤマジノギク苗についてはリスクの大きさから、大幅な注文減が見込まれる。また、輪菊苗についても令和2年度を以って生産を中止し、前年度秋から小ネギの試験生産を開始している。初めて食品を生産し続けることになり、様々な状況を確認しながら生産性及び品質向上を図り取り組む。本年度から本格的にJAべっぷ日出ふれあい市場への出荷を開始するため、既存出荷先を含め、供給品目について検討・改良を進め、花苗や野菜苗の健苗生産及び供給増に努める。

一 種類別生産計画

種別	前年度実績 見込み(本・枚)	受託等計画												備考			
		単位(本・枚)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月		
水	54,271	54,000	→														硬35千、緑3千、芽2千、籾1万、籾4千
シシトウ・トウガラシ	7,099	5,400	→														→シシトウ3300、トウガラシ1600、ピーマン500
白ネギ	628,920	681,120	→														→白ネギ332,640、甘ネギ348,480
タマネギ	143,720	222,000															JAおおいだ6.2万、他16万 100本/束
ブロッコリー	22,527	22,000															JAべっぷ日出注文 100本/枚
野菜苗(ふれあい他)	26,000	51,800	→														JA注文18000、その他33500、ピーマン300
ヤマジノギク(全農)	0	120,000															150本/枚
小菊(全農)	253,000	150,000															7~11月咲、寒菊競株管理 150本/枚
ホオズキ(全農)	80,000	86,000	→														→新盆、旧盆、短径生産 100本/枚
小ネギ(農協)	600kg	7,920kg															JAおおいだに出荷

種 別	前年度実績 見込み(本・枚)	受託等計画												備 考		
		単位(本・枚)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月	
花 苗 (ふれあい他)	17,000	19,000														公共機関より注文有
薬 用 作 物 栽 培																受託作業

※水稲54,000枚(前実見込比99.5%)、野菜計982,320本(前実見込比118.6%)、花き・花壇苗計356,000本(前実見込比107.9%)(輪菊除く)

一 山 香 グ リ ー ン エ コ ラ ン ド 事 業

公の施設である杵築市堆肥化処理施設の指定管理者として令和3年4月1日より新たに3年間の管理運営を実施する。指定管理期間は、平成13年7月稼働開始から、本年7月には20年が経過し、施設・機械設備の老朽化が顕著であるため5年から3年に短縮されている。

本年度の山香グリーンエコランド事業運営に係る、家畜排泄物処理計画は、大分県が実施する事業に散布用堆肥を供給するとともに、製品堆肥の供給量とことから、継続中の乳牛ふんに対する搬入制限について、含水分量の低下を強く指導するとともに、製品堆肥の供給量とのバランスを図りつつ、原料受入れ量の増加を目指す。

処理過程は、堆肥発酵に適する含水分量調整のため、一次発酵舎のブローア吹き出し口の清掃を継続して実施。加えて生産コスト削減を年間通し実施するため、モミガラ・刈草など副資材の仕入れ元を増やし、安定・安価な副資材の確保に努め、戻し堆肥の利用減を進め、堆肥化行程の円滑化を図る。また、課題である新商品の開発については、前年度より試験を開始した竹粉末の混合試験を引き続きおこなっていくとともに、土壌改良資材の選定や必要な機械導入を含め新商品の供給に向け道筋をつきたい。

堆肥供給は、バラ・フレコロンで大分県が実施する事業に麦踏み兼ねた堆肥散布を実施する見込みであるが、単年度事業であるため、継続した堆肥散布の推奨・推進を行う。小袋堆肥では、数年間供給量が通減しており新たな販路の拡大に向け、前年度コロナ過に係る事業により小袋堆肥が配布された市内杵築・大田地域への利用拡大を図るとともに、OEM供給先が事業終了する可能性があるため、JA等小売り店には引き続き現在供給している店舗への供給増と新たな別店舗へ供給推進。また、近隣県外にも視野を広げた積極的な推進を行い、良質堆肥による供給先の拡大を図る。

一 種類別生産計画

種別	家畜排せつ物処理計画	生産量(D)	種別	堆肥供給計画
乳用牛糞	3,200 t	4,550 m ³	バラ堆肥自己取り	350 m ³
繁殖牛糞	0 t	(D)=A'×製品化率56.2%	バラ堆肥配達	500 m ³
肥育牛糞	1,450 t	戻し堆肥減損量(E)	バラ堆肥配達散布	2,200 m ³
豚ふん	0 t	-100 m ³	合計	3,050 m ³
採卵鶏糞	0 t	完成品量(F)	小袋堆肥自己取り	9,500袋
ブロイラー糞	644 t	1,000 m ³	小袋堆肥配達	30,500袋
合計	5,294 t	4,650 m ³	合計	40,000袋
	(A)	(A')=B+C	合計	4,650 m ³

一 山香グリーンエコランド事業計画(数量基準)

種別	前年度実績 見込み	受託等計画												備考	
		数量	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月
処	家畜排せつ物搬入	5,294t	478	478	359	466	465	384	457	466	434	435	458	461	農家戸数: 糞3 肥2 糞0 7 ³ 採卵0
理	副資材搬入(刈草)	1,500 m ³		100	100	200	200	300	300	300					1社より購入(冬季用)7700 m ³
	副資材搬入(ミカワ)	400 m ³	100							300					J.A7/ACから無償譲渡(化)作業委託)
バ	堆肥自己取り	316 m ³	55	18	5	7	46	48	34	25	5	15	32	60	
ラ	堆肥配達	422 m ³	80	55	5	31	62	53	30	48	7	8	21	100	
	堆肥散布	1117 m ³	55	25	10	15	65	70	59	624	352	568	204	153	水稲1100 m ³ , 花野菜300 m ³ , 日出800 m ³
小	堆肥自己取り	31,445袋	1000	250	200	350	1000	1150	1000	1000	1100	240	990	1220	
袋	堆肥配達	27,892袋	3500	1600	940	1650	2900	3680	2700	3580	550	1920	2890	4590	
	上記の内供給強化(A供給)	25,000袋	1000				1000				3000				展示会、大量注文等(自1000、配4000)

※搬入処理量5,294t(前実績比116.3%)、供給: 73,050 m³(前実績比164.4%)、小袋40,000袋(前実績比67.4%)

一 担い手育成支援事業

地域の実質的な担い手となり活動の核でもある当センターは、担い手不在集落を含む杵築市全域をカバーする、杵築市地域農業経営サポート機構として果知事から認定されている。このため杵築市集落営農連絡協議会（20組織）を中心とする23連携員と杵築市、JA等の各協力関係機関と密に連携をとり、農地利用集積円滑化事業、農地保全管理事業、高次元農業推進事業と多岐に渡る事業の展開をしている。地域経営体の組織連携化を促進し、中核農家及び営農組織等の育成・支援となる担い手対策等により、農家の労力を補完するとともに、農業機械等への過剰投資の抑制、地域主幹品目の維持・拡大を図り、もって農業所得の向上と生活の安定、さらには地域農業の振興、農地の保全を図っていく。

① 杵築リース農園事業（農地利用集積円滑化事業）

当該農園の施設リース料及び農用地賃貸料の徴収・支払事務、農用地売買等事業（賃貸借）を実施。農用地の賃貸借は、リース期間満了をもって随時、中間管理機構への移行・誘導に向け取り組む。

② 研修等事業（農地利用集積円滑化事業）

杵築いちごトトレーニングファーム施設用地を、研修等事業により中間保有。

この農用地にJAが事業主体となり、いちご栽培研修施設、いちご育苗研修施設を建設

契約期間：平成26年4月（杵築市農業委員会総会平成25年3月5日に同意）～令和5年3月31日

参入者：2年毎の入れ替え制（8年間：研修は計4回実施）現在4期生が実践中。

③ 地域おこし協力隊の受け入れ

杵築市臨時職員（地域おこし協力隊）を2日/週程、農作業等実地的に体験させ就農支援及び将来への定住促進を図る。1名

2. 収益目的事業（令和3年度内訳）

収益事業の公共施設関連管理作業は、環境保全美化を主体とし、市道日出大田線外、主要幹線18路線の除草作業、山香・大田地区における市道の道路補修・支障木伐採等の道路維持関連作業。山香庁舎周辺外、市有地除草作業並びに公園施設の管理などの積極的な受託に努める。また、害虫駆除による災害忌避に務めるなど多岐にわたる事業に取り組む。

請負事業は、前年実績を目標とする業務（仕事）獲得を貪欲に進め、利益増進を目指す。一般住民からの多種多様なニーズに対応できる体制は補完しつつ、作業体制の見直しや作業の効率化を進め、不採算である公益目的事業部門を補うとともに、杵築市における認知度の存在意義を高めていけるよう事業展開を図っていく。

— 公共施設管理に係る受託作業の実施計画 —

種別	前年度実績 見込(千円)	受託等計画												備考			
		金額(千円)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月		
山香地域市道除草	6,371	6,371								→							71,568㎡(山香18、大田1路線)
甲尾山公園外管理	6,710	7,502															除草170,888㎡(7カ所)、防除、1ヶ所清掃、外
山香地域市有地除草作業	3,134	1,888	→	→		→		→									34,300㎡(9カ所)
山香大田地域市道維持管理	2,204	2,204															道路維持、側溝清掃等
その他の市請負	2,476	2,476															支障木伐採、ボートリフト運搬
その他の請負	942	2,182															蜂駆除72件、外
※請負金額合計	22,623,000円	（前実見込比103.6%）															

収 支 (損 益) 予 算 書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター
 会計名 会計全体

(単位：千円)

科 目	予算額(A)	前年度予算額 (B)	増減(A)-(B)	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益				
基本財産受取利息	1	3	-2	法人:基本財産30,000千円定期利息
基本財産運用益計	1	3	-2	33.3.0%
特定資産運用益				
特定資産受取利息	2	2	0	公益:寄付金26,100千円定期利息
特定資産運用益計	2	2	0	100.0%
受取会費				
正会員受取会費	5,000	5,000	0	市300、JA(山120、杵80)
正会員特別受取会費	1,000	3,000	-2,000	運営費1,000
受取会費計	6,000	8,000	-2,000	75.0%
事業収益				
農地賃借収益	3,501	5,479	-1,978	売買等事業分 山香3戸、杵築18戸
農地手数料収益	270	620	-350	杵築リース農園事務手数料
農地利用雑収益	6	6	0	
農地利用集積円滑化事業収益計	3,777	6,105	-2,328	61.9%
耕起作業収益	398	398	0	5.2ha 前実 3.4ha
畦塗り収益	1,105	1,105	0	17.0km 前実 12.7km
荒水代掻収益	561	561	0	8.9ha 前実 10.3ha
田植え作業受託収益	1,415	1,270	145	18.2ha 前実 17.3ha
水稲収穫作業受託収益	5,951	5,951	0	34.4ha 前実 31.5ha
農作業人夫使用料	540	540	0	サボート機構連携
薬剤散布収益	13,660	12,013	1,647	386.1ha 前実 319.3ha
その他農地保全管理収益	8,806	8,003	803	転作田等除草、堆肥散布作業増
農地保全管理事業収益計	32,436	29,841	2,595	108.7%
水稲苗生産収益	31,587	31,537	50	54,000箱 前実 54,271箱
野菜苗生産収益	13,598	7,347	6,251	小・科 ¹ 栽培試験
花卉苗生産収益	9,199	19,146	-9,947	輪菊廃止、ナツメ ² 減
育苗雑収益	33	29	4	育苗雑収入
高次元農業推進事業収益計	54,417	58,059	-3,642	93.7%
堆肥供給収益	19,367	17,046	2,321	バ ¹ 供給増(県事業)
受託収益	5,009	3,822	1,187	散布受託増(県事業)
家畜糞尿処理請負収益	2,803	2,707	96	
山香グリーンエコラント ³ 事業収益計	27,179	23,575	3,604	115.3%
基盤償還徴収金収益				終了
施設徴収保険料収益				終了
施設徴収更新費収益				終了
施設徴収償還金収益				終了
杵築リース農園事業収益計				-
公共施設等管理作業収益	22,493	18,939	3,554	市道、公園除草増、施設除草等減
収益事業収益計	22,493	18,939	3,554	118.8%
事業収益計	140,302	136,519	3,783	102.8%
受取地方公共団体補助金				サボート機構補助期間R01終了
振替:受取地方公共団体補助金	5,870	4,051	1,819	指定正味財産からの振替額
受取地方公共団体助成金	300	300	0	農地利用集積円滑化事業活動助成金
受取補助金等計	6,170	4,351	1,819	141.8%
受取利息	6	6	0	預金受取利息
その他雑収益	5,010	5,010	0	高:薬用作物栽培、コ ² :指定管理料、外
雑収益計	5,016	5,016	0	100.0%
経常収益計	157,491	153,891	3,600	102.3%
(2) 経常費用				
事業費				(公益目的事業、収益目的事業)
(集積)農地賃借費	3,501	5,479	-1,978	

収 支 (損 益) 予 算 書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター
 会計名 会計全体

(単位：千円)

(集積)事業雑費	6	6	0	
農地集積円滑化事業費計	3,507	5,485	-1,978	63.9%
(保全)諸材料費	4,405	3,443	962	田植え除草剤、刈農薬
(保全)機械賃借費	279	279	0	刈防除:車両レンタル外
(保全)その他作業委託費	2,336	2,336	0	刈防除委託、草・HP保守
農地保全管理事業費計	7,020	6,058	962	115.9%
(高次)種苗費	5,666	6,101	-435	ヤブヅク親株
(高次)肥料費	420	295	125	小社'肥料増
(高次)農薬費	914	960	-46	水稲増、小社'(輪菊)減
(高次)諸材料費	5,354	5,191	163	水稲培土増
(高次)出荷経費	3,110	280	2,830	小社'出荷費用
(高次)試験研究費	50	50	0	試験栽培費用
(高次)事業雑費	72	74	-2	水稲苗箱洗浄作業委託
高次元農業推進事業費計	15,586	12,951	2,635	120.3%
(eco)原材料	495	495	0	副資材(刈草)
(eco)諸材料費	1,251	1,354	-103	小袋用袋
(eco)燃料費	750	709	41	堆肥化処理燃料:バ'イ'イ'外
(eco)動力光熱費	2,040	2,640	-600	電気料金
(eco)作業委託費	323	256	67	フレコン詰め、配達
(eco)堆肥化経費	36	36	0	脱臭剤:希硫酸
(eco)eco推進活動費	61	61	0	処理料金減額(水分調整協力)、外
(eco)堆肥化雑費	330	330	0	堆肥成分分析、外
山香グリーンエリート'事業費計	5,286	5,881	-595	89.9%
(リ-ス)基盤受託金				終了
(リ-ス)施設受託金				終了
杵築リ-ス農園受託事業費計				-
(公共)作業委託費	66		66	
(公共)請負委託仕入	428	586	-158	芝肥料、殺虫剤、外
公共施設等管理事業費計	494	586	-92	84.3%
事業原価計	31,893	30,961	932	103.3%
(事)給料手当	63,312	63,048	264	算出基礎:従事 合計30人体制
(事)退職給付費用	2,009	1,794	215	正職員7名
(事)法定福利費	7,967	7,625	342	
(事)福利厚生費	2,195	2,015	180	
人件費計	75,483	74,482	1,001	101.3%
(事)会議費	69	69	0	
(事)消耗品費	4,559	3,104	1,455	テープ'使用量増、小社'箱外
(事)宣伝広告費	502	664	-162	コ:試供品、販促品
(事)通信運搬費	676	770	-94	各事業:切手、電話料金
(事)印刷製本費				(封筒→消耗品)
(事)図書研修費	818	618	200	資格取得、コ産産講習切替え
(事)事務委託費	102	92	10	各事業振替手数料、外
(事)租税公課	9,226	8,893	333	軽油税、印紙税、消費税
(事)会費分担金	9	5	4	各事業協議会等会費
(事)保守修繕費	6,259	6,145	114	刈、トラクター、コ修繕等
(事)保険料	1,901	2,156	-255	刈動産、自動車、賠償、傷害
(事)水道光熱費	1,992	2,286	-294	各事業:電気、水道
(事)賃借料	748	902	-154	保全、高次:車輛、公共:機械
(事)消耗什器備品費	511	330	181	保全、公共:工具・刈払機
(事)車輛費	3,544	3,413	131	各事業:車検・整備、タ付外
(事)施設管理費	540	540	0	高次:コ:電気保安、警備保障
(事)燃料費	4,081	4,609	-528	輪菊冬期加温重油減
(事)減価償却費	8,780	6,720	2,060	コ:小袋詰め機、高次:土入れ機械
(事)旅費交通費	50	50	0	旅費
(事)雑費	464	392	72	高次:水源'ム使用料、外
その他事業経費計	44,831	41,758	3,073	107.4%
事業費合計	152,207	147,201	5,006	103.4%

収 支 (損 益) 予 算 書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター
 会計名 会計全体

(単位：千円)

管理費				(法人会計)
(管)給料手当	1,507	2,729	-1,222	算出基礎：従事 合計30人体制
(管)法定福利費	265	315	-50	
(管)福利厚生費	90	107	-17	
人件費計	1,862	3,151	-1,289	59.1%
(管)会議費	30	30	0	理事会・總會費用
(管)消耗品費	141	179	-38	事務消耗品
(管)通信運搬費	104	119	-15	切手、電話料金
(管)図書研修費	60	60	0	図書、公社研修費、外
(管)事務委託費	1,112	1,112	0	税理士、社労士顧問料、登記関係、外
(管)租税公課	6	29	-23	収入印紙、外
(管)会費分担金	62	62	0	農業公社協議会、安全運転管理
(管)保守修繕費	223	259	-36	複合機、会計ソフト保守、機器強化
(管)保険料	22	93	-71	傷害保険、自動車保険
(管)水道光熱費	98	99	-1	事務所：水道、ガス、電気
(管)賃借料	510	500	10	会計システムレンタル
(管)消耗什器備品費	50	50	0	パソコン、周辺機器
(管)車輛費	50	110	-60	整備費
(管)施設管理費	470	470	0	警備保障、ゴミ収集、外
(管)燃料費	81	91	-10	自動車
(管)旅費交通費	114	114	0	役員費用弁償
(管)支払利息	15	15	0	短期借入金利息
(管)雑費	30	30	0	
その他管理費計	3,178	3,422	-244	92.9%
管理費合計	5,040	6,573	-1,533	76.7%
経常費用計	157,247	153,774	3,473	102.3%
評価損益等調整前当期経常増減額	244	117	127	208.5%
当期経常増減額	244	117	127	208.5%
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計				
(2) 経常外費用				
過年度修正(退職給付費用)				旧法人分H28年度終了
その他の経常外費用計				
経常外費用計				
当期経常外増減額				
他会計振替額	0	0	0	収益事業振替額1,662
税引前当期一般正味財産増減額	244	117	127	208.5%
法人税、住民税及び事業税	71	71	0	
当期一般正味財産増減額	173	46	127	376.1%
一般正味財産期首残高	120,354	120,308	46	100.0%
一般正味財産期末残高	120,527	120,354	173	100.1%
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等				
受取地方公共団体補助金(指)				車両機械更新2/3補助
受取補助金等計				
一般正味財産への振替額				
一般正味財産への振替額	5,870	4,051	1,819	144.9%
当期指定正味財産増減額	-5,870	-4,051	-1,819	-
指定正味財産期首残高	78,588	82,639	-4,051	95.1%
指定正味財産期末残高	72,718	78,588	-5,870	92.5%
III 正味財産期末残高	193,244	198,941	-5,697	97.1%

令和2年度

事業報告書

自 令和 2年4月 1日
至 令和 3年3月31日

豊かな村づくり



公益社団法人 杵築市地域活性化センター

主 な 活 動 報 告

年	月	日	活 動 内 容	
令和2年	4月	3日	水稻苗播種開始	
		13日	白萩 ^レ 苗納品開始	
		20日	小菊苗(8月咲)出荷開始	
	5月	15日	輪菊苗(富士)植付作業開始(2号ハウス1から)	
		17日	田植え受託作業開始	
		22日	監事監査	
	6月	5日	杵築市農業再生協議会幹事会	
			理事会	
		16日	輪菊苗(富士)穂取作業開始	
		18日	市町村農業公社連絡協議会総会	
		18日	杵築市集落営農連絡協議会三役会	
		26日	定期社員総会	
		7月	20日	水稻無人ヘリコプター防除第1回目開始(8/6迄：杵築含)
		8月	12日	ブロッコリー苗播種作業開始(JAべっふ日出)
			17日	水稻無人ヘリコプター防除第2回目開始
			19日	ホス ^レ キ苗播種作業開始
	9月	4日	早期水稻収穫作業受託開始	
			ブロッコリー苗出荷開始(JAべっふ日出)	
		14日	小萩 ^レ 栽培試験開始(土壤消毒作業)	
		17日	東部地区除礫実証工事实演会	
		18日	ホス ^レ キ苗定植開始	
		23日	玉萩 ^レ 苗播種作業開始(JAおおいた東部事業部山香地域等)	
		30日	令和2年度上半期棚卸し	

主 な 活 動 報 告

年 月 日	活 動 内 容
10月 1日	杵築市農業経営サポート機構運営検討会
19日	小袈裟初播種作業(貫井ハウス1号-②)
30日	令和2年度上半期会計等監査
11月 4日	土壌改良材(水田堆肥散布)開始
4日	公益社団法人農業公社やまくに意見交換会
4日	多面的機能支払交付金事業広域組織化研修会
4日	水田排水対策講習会
9日	土壌改良材(水田ミネラルG散布)開始
17日	玉ねぎ苗出荷(JAおおいた東部事業部山香地域)
19日	大分県花き種苗供給連絡協議会
19日	大分県市町村農業公社連絡協議会会長・副会長会議
25日	理事会
令和 3年 1月 7日	ホスギ苗挿し芽作業開始
19日	小袈裟研修会(公益社団法人国東市農業公社)
21日	大分県市町村農業公社連絡協議会所長・事務局長会議
2月 3日	第1回杵築市地域活性化センター改革プラン策定検討会議
10日	杵築市農業再生協議会監事会
15日	カボチャ苗播種開始
19日	白袈裟播種作業開始
22日	杵築市農業再生協議会臨時総会
25日	ホスギ苗(新盆分)出荷開始
3月 2日	小ねぎ初収穫(3/3より出荷開始)
16日	ホスギ苗(旧盆分)出荷開始
17日	杵築市集落営農連絡協議会組合長会議
17日	第2回杵築市地域活性化センター改革プラン策定検討会議
17日	小菊(7月咲)出荷開始
26日	ゴーヤ苗出荷開始
30日	監事会(活性化センター、山香グリーンエコラント棚卸)

【事業報告】

－ 総 括 －

農業・農村を取り巻く環境は、近年の農業施策の変動に加え、農業従事者の高齢化並びに後継者不足が進行し、生産コスト上昇やコロナ禍による農産物の価格低迷、さらに異常気象と様々な不安も重なり、依然厳しい状況にある。収益性の低い条件不利地域に於いては米価の下落やウンカ被害等で一段と農業離れに拍車がかかり、遊休農地、荒廃化が進むことが懸念される。

こうした状況の中、不特定多数の者の利益の増進に寄与することを基本とし、杵築市全域に根ざした事業展開をし、杵築市の「農地を守り、担い手農家の育成と、地域農業の活性化」を目指して、各種事業に取り組んだ。

事業面では、公益目的事業として、農地利用集積円滑化事業に於いては、令和2年4月1日をもって農地中間管理事業（農地バンク）に一元化されたことから、前年持ち越し2件分の手続き完了をもって最終案件とし、新規相談や貸借期間の終期到来分については、農地中間管理機構への移行・誘導を中心に業務を推進した。

農地保全管理事業に於いては、水稻基幹作業の荒水取りや代かき、田植え作業及びウンカの大発生により無人ヘリコプター防除作業が増加したが、荒田耕起・畦塗り・刈り取り作業は減少し前年比101.9%、計画比97.5%となった。農閑期には土壌改良材の散布作業及び植林・枝打ち等の森林作業を受託し、周年作業の確保を図り、全体受託実績件数は前年比104.0%、計画比94.5%の853件、438.5haとなった。

高次元農業推進事業に於いては、薬用植物栽培試験では、当初計画5年終了後も栽培試験を継続することとなり、6年目としてキキョウを中心とした栽培管理を行った。令和3年秋掘り上げ分の定植では、補植を徹底し活着率を上げることができた。

水稻苗は前年比107.7%、計画比102.4%の約5万4千枚を受注し、そのうち飼料米が5千枚弱と倍増した。

花き・野菜苗物全般では、TSWV（トマト黄化えそウイルス）に感染したヤマジノギクの親株が持ち込まれた影響から、5月に育苗中の苗を全て廃棄し、花壇用苗が前年比で88.2%、計画比91.7%となり、ヤマジノギクは全廃しゼロとなり代替作物として供給した小菊が増加した。ホオズキ苗はウイルスの影響は受けなかったが前年比86.5%と減少、輪菊苗では取引先の事情により期中で生産を中止し、小ネギの試験栽培を開始した。野菜苗は、JA向け白ネギ・甘ネギやカボチャが減少、ウイルスの影響を受けた直売所向けも減少した品目が多く前年比88.0%、計画比80.9%の26品目、約831千本を供給した。

山香グリーンエコランドに於いては、家畜排せつ物搬入量は、前年から継続

する乳牛ふんの搬入制限や、ブロイラーふんの減少により前年比95.4%、計画比90.0%と減少した。堆肥化処理過程では、副資材である刈草が思うように確保出来ず、一次発酵舎ブローア送風口の清掃による発酵効率の向上、水分量の低い肥育牛ふんの搬入量増加、モミガラ確保で対応を試みたが、肥育牛ふんの増加量が前年比30tの微増にとどまり、やむなく戻し堆肥を使い処理を行った。堆肥供給は、フレコン・バラ供給は前年比98.5%、計画比67.6%の1,741m³、小袋供給は前年比168.2%、計画比154.2%の約6万袋であった。茶葉生産農家へのバラ供給が再開出来ず、代替となる形で、新型コロナウイルス対策事業(園芸農業経営支援)に小袋堆肥を供給した。

収益目的事業の公共施設関連管理作業に於いては、山香地域社会体育施設管理委託業務が廃止となり、水の口湧水公園の管理面積が増加したが、害虫駆除が前年比42.1%と半分以下となり、支障木伐採作業も減少した。ただし、害虫駆除を除く減少は、事業計画時に予見されており、事業全体では、請負金額ベースで前年比81.5%となり計画比では115.6%となった。

経営面では、流動比率は612%であり理想水準を満たしている。棚卸資産に於いては、エコランドの令和元年度原価計算書の誤りを本年度に修正を行ったことから、120.4%の増加となっている。原価計算書に誤りが無かったと仮定した場合には、チップソー在庫、牛ふん用小袋在庫により諸材料が増加、エコランド仕掛品及び製品が、乳牛ふんの搬入制限の継続及びコロナ対策による小袋詰め堆肥配布による各在庫の減少により、94.8%の減少となる。

固定資産に於いては、新型コロナウイルス対策事業(杵築市種苗安定供給施設整備・園芸農業経営支援)により、高次元農業推進事業においてポット入れ機、エコランドにおいて小袋詰め機を取得、機械設備取得資金の積増しにより増加し、減価償却・機械購入時自己負担分と合わせ前年比111.2%となった。

このため資産は1,483万円増加し前年比105.9%の2億6,455万円となった。

これに対し負債に於いては、公共施設関連管理事業で法人税、エコランドで指定管理に係る市への寄付金、公益共通で決算賞与を未払い計上、令和元年度計上した種苗費や資材費、農地保全管理事業での機械倉庫修繕費や退職金の未払い計上との差額により流動負債が前年比92.5%、固定負債で退職給付引当金を計上し負債合計では前年比99.9%となった。

損益では、収入に於いて、水稻関連作業は荒水代かき、田植え、病虫害の発生による無人ヘリ防除作業が増加、草刈り、森林組合受託作業も増加し農地保全管理事業では、前年比109.3%の増加となり計画比は107.6%となった。高次元農業推進事業では、水稻苗が飼料米の受託により増加、ヤマジノギクのTSWV(トマト黄化えそウイルス)の影響があり、野菜苗も一時期全量廃棄したが、小ネギの収益を加えほぼ同額、花き苗は同ウイルスの影響や、コロナ禍に係る輪菊苗の生産中止から大幅に減少、薬用植物栽培試験の受託料

等の減少と併せ前年比91.2%となり計画比91.4%となった。

エコランド事業では、新型コロナウイルス対策事業(園芸農業経営支援)による小袋堆肥の供給量増加から前年比134.9%、計画比114.2%となった。公共施設等管理事業は、山香地域社会体育施設管理委託業務の廃止、害虫駆除や、支障木伐採作業受託等の市請負作業が減少、一部公園管理面積が増加したものの前年比81.5%となった。ただし市請負業務の減少は計画時に予見されており計画比は114.7%となった。

事業収益計は前年比96.1%の1億3,930万円となり、経常収益計が前年比91.4%の1億5,135万円となった。

費用に於いて、農地保全管理事業では、事業減少に係る諸材料費、サポート機構に係る資格取得助成費や無人ヘリコプター防除チャーター費が減少。高次元農業推進事業では、ヤマジノギクの代替として供給した小菊の種苗費が増加。

山香グリーンエコランドでは、小袋堆肥大量供給に係る諸材料費、技術継承及び一次発酵舎ブロー送風口の清掃を行い(eco)作業委託費が増加、新電力に契約変更した動力光熱費が減少した。

その他事業費としては、前年購入を見送っていたチップソーをまとめ買いし消耗品費が増加、租税公課は消費税額の上昇により増加した。前年にセンター倉庫シャッター及び機械倉庫屋根の修繕等を行った保守修繕費は減少、輪菊の廃止に伴い冬季の加温が不要となり燃料費が減少、減価償却費は小袋詰機・ポット土入れ機を導入したが、2月及び3月と年度末の導入であったことから償却完了分と合わせ微減となった。人件費は、輪菊苗生産中止に伴い人員整理を行い7月以降30名体制とし、所長の退職、一部嘱託職員がパート職員となったことから減少、経常費用計は前年比90.9%、計画費94.7%の1億4,564万円となった。

このため当期経常増減額に於いては、前年比106.1%の571万円となった。

経常外増減の部に於いては、収益及び費用ともに計上はなかった。

そして認定法18条により、収益事業等から生じた利益の50%を公益目的事業会計に繰入処理を行うため、収益事業から422万円を公益目的事業に繰入し、当期一般正味財産増減額は460万円となり、指定正味財産を加え、正味財産期末残高は前年比107.3%の1,490万円増加となる2億1,785万円、自己資本比率82.4%となった。

また、資金繰りは、上期に着手する事業が多いものの、収入自体は下期となる件もあり、特に期首から3ヶ月は、収入も少なく厳しい状況となっている。

今後も、耐用年数が経過し老朽化する機械等の更新に係る資金繰り及びその減価償却費の増加と厳しい状況が予見される。今以上に作業の効率化、機械設備の保守など更なる経費削減に努め、経営の安定化を図る。

目的、事業を再認識し、杵築市でのセンターの役割を見だし、地域保全並びに農業福祉的立場で住民が安心して暮らせるよう行政の補佐役として可能な限り取り組むよう努めていく。

1. 農地利用集積円滑化事業

農地利用集積円滑化事業は、令和2年4月1日をもって農地中間管理事業（農地バンク）に一元化された。このため前年持ち越し2件分の手続き完了をもって最終案件とし、その後の農地の貸借希望2件及び更新案件13件約4.7haについては、市へ情報提供を行うとともに、地権者・担い手双方へ案内文書を送付し、問合せ窓口として、農地中間管理機構に集積されるべく調整を行った。

今後も市・農業委員会等の関係機関の指導もと、農地中間管理機構への集積に協力し、ひいては杵築市の農業発展のために、希望ある農業へと誘導できるような重要な役割を担っていきたい。

2. 農地保全管理事業

地域農業、農地の保全、農業機械の過剰投資の抑制を目的に、農作業受託という形で実質的な担い手となり、農業支援に取り組んだ。

本年度は、7月が平年に比べ低温・日照不足で経過し、その後は高温や台風の到来、ウンカの大発生があった。大分県の作況指数が77で不良となった中で、杵築市を含む湾岸部では67という非常に厳しい数値となった。

このような状況下において、水稻基幹作業では、昨年導入した5条田植機を使用し順調に受託案件を消化することができた。また、無人ヘリコプター防除は県からウンカの発生警報により適切な防除を促され2回目防除が微増となり、結果合計は前年比101.4%となった。稲刈は、ウンカの被害による作業の前倒し傾向にあったが、前年実績と同等の99.4%を受託した。これらから水稻作業全般では前年比101.9%であったが、計画比では97.5%に止まった。

土壌改良材散布については、2年続けてのウンカ被害等により、大幅な落ち込みが懸念されたが、堆肥・ミネラル散布合計で計画比は下回ったが、前年比で107.6%と上昇した。

サポート機構では、集落営農組織の広域連携についての研修会を行う予定を立てたが、コロナ渦であり、実現することができなかった。そこでチラシを作成し、関係機関と共に各集落を回った。高齢化や後継者不足により畦畔の草刈作業等の重労働の継続が困難になっていく中で、サポート機構でうまく連携を図る仕組みを作っていくことが喫緊の課題となる。活性化センターにおいてもより広域に活動できる体制作りを検討していく。

3. 高次元農業推進に関する育苗センターの管理運営

杵築市農業の振興と発展を目的とし、農家の育苗作業の省力化及び経費の軽減化を図り、農家のニーズに合った安心安価な健苗生産供給に取り組んだ。

水稻苗ではほぼ順調な出荷を行なえ、サポート機構の連携集落より飼料米等の注文が増加したこともあり、前年比107.7%増の出荷となった。

事業年度が終了した薬用植物栽培においては、作付面積の多くでキキョウを植え付けた。欠株に対しての補植を積極的に行ない、活着率をかなり上げることができた。令和3年の掘り上げのための管理を行っていくとともに、今後の事業展開について検討していく。

花き苗では、ヤマジノギクの親株でウイルスの入った苗が持ち込まれ、害虫に起因することから、ハウス内の他品目にまで影響が及ぶ事態となり、長期間多くのハウスを閉鎖することとなった。そんな中で、現場の圃場を空かさないよう、外部から小菊の穂を仕入れ、挿し芽を行うことになり、農薬散布の回数を増やし、防虫ネットを使用しながら対応した。

また、輪菊苗では、新型コロナウイルスの影響で大口農家が生産を辞めることになり、少量出荷となったため、今年度途中で生産を中止した。その後のハウスの使用については、土耕小ネギ（味一ネギ）を生産することになり、10月中旬に最初の播種を行い、3月初旬から出荷を行った。

花壇苗や野菜苗については、5月の中旬からウイルスをもった害虫の影響が拡散しないように、長時間ハウスを閉めきり、全ての作物を廃棄した。そのような要因のために、減少した品目も多くあった。

令和2年度については、これまでに経験のないことが起こり、改めてハウス管理の難しさを知ることとなった。同時に小ネギ栽培を開始し、初めて本格的に青果物を生産することになった。まだ病害虫の発生も懸念される中で、ハウス管理を徹底すると共に、小ネギの品質向上や順調な出荷が行える体制作りにも努める。

4. 山香グリーンエコランド事業

【 搬入 】

家畜排せつ物の搬入量は、4,409tで前年比95.4%となり、数量にして213tの減少、計画比90%となった。

各畜種における対前年での増減は、乳牛ふんでは、昨年から継続する1台/日とする搬入制限による搬入量の調整が影響し72tの微減。肥育牛ふんは、副資材の代替として搬入を促し30tの微増、ブロイラーふんは生産者都合により171tの減少となった。

【 堆肥化処理過程 】

処理過程は、副資材の刈草の供給が少なく、十分な量の確保にはいたらなかった。肥育牛ふんの受け入れ量を増加し、モミガラ等の確保も行った。しかし副資材・肥育牛ふんでは十分な水分調整が出来ず、仕掛品の戻し堆肥を使うなどして対応したが、冬期間に処理をおこなったものは、水分が多い状態となっている。

【 堆肥供給 】

堆肥供給は、フレコン・バラ供給は前年比98.5%、計画比67.6%、小袋供給は前年比168.2%、計画比154.2%であった。

フレコン・バラ供給では、バラ渡しが前年比131.9%、計画比50.6%、フレコン配達は、前年比86.8%、計画比55.6%、フレコン散布では、前年比95.5%、計画比83.0%であった。

フレコン・バラは、直売が市外大口農家からの注文により増加した。フレコン散布は、畑・ハウス内等への散布が増加し、水田は減少した。

小袋堆肥では、工場渡しが前年比412.7%、計画比324.1%であり、配達は前年比99.4%、計画比95.6%のほぼ横ばいとなった。

本年は、新型コロナウイルス対策事業(園芸農業経営支援)に係る補助金によりJAおおいた東部事業部杵築から24,385袋の注文があり、これが茶葉生産農家へのフレコン供給計画分の代替となり小袋の増加となった。しかし凡そ6割の供給先への供給が減少する結果となった。

5. 杵築リース農園事業

リース料精算に係る事務作業については、JAおおいた東部事業部からの請求を受け、各事業実施者(参入者)に対するリース料(農地賃借料、施設償還金・保険料等未収金)の請求令書を発送し、随時リース料を徴収し、地権者並びにJAへの支払い事務を実施した。

6. 収益目的事業(公共施設等管理事業)

杵築市の景観・環境保全を目的とし、市道日出大田線ほか主要幹線の草刈り・維持管理及び各種公園施設の管理など受託し、環境保全美化に努めた。あわせて住民の安全な暮らし、災害忌避を目的として実施するスズメバチ等の害虫駆除を実施した。

本年度は、水の口湧水公園の管理面積が増加した反面、山香地域社会体育施設管理委託業務の廃止、害虫駆除が40件と前年比42.1%、支障木伐採作業受託等の市請負作業が18件とこれも前年比90.0%と減少することとなった。事業全体でみると、昨年の増加から減少傾向にあると予見しており、請負金額ベースで前年比81.5%に止まったが、計画比では115.6%と増加することとなった。

来年度も、一般住民からの多種多様なニーズに対応できる体制作りに努め、杵築市における認知度や公社の存在意義を高めていくとともに、収益事業部門と位置付け、不採算である公益目的事業部門を補えるように事業展開を図っていく。

貸借対照表

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター

(単位：円)

会計名 会計全体

科目	当会計期間末 (令和3年3月31日現在)	前会計期間末 (令和2年3月31日現在)	増 減	備 考
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金	33,155	18,281	14,874	
普通預金	112,537,838	107,986,402	4,551,436	
事業未収入金	18,844,686	20,890,661	-2,045,975	43件:公益41件、収益2件
未収金	0	1,819,212	-1,819,212	
未収収益	563	844	-281	4件:公益3件、法人1件
たな卸資産	10,016,633	8,321,631	1,695,002	諸材料、原材料、仕掛品、製品
貯蔵品	14,508	12,228	2,280	切手、収入印紙
立替金	5,200	12,500	-7,300	ホ:ホフォスト伝票
流動資産合計	141,452,583	139,061,759	2,390,824	101.7%
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
基本財産定期預金(基)(指定)	30,000,000	30,000,000	0	市18000千円、JA12000千円
基本財産合計	30,000,000	30,000,000	0	100.0%
(2) 特定資産				
定期預金(特)(指定)	26,100,000	26,100,000	0	リース14100千円、共通12000千円
構築物(特)(指・一)	24,756,031	24,756,031	0	ホス資材一式、ホス設備、ホス被覆材外
車輛運搬具(特)(指・一)	15,714,494	15,714,494	0	ホーフスレック外(7件)
機械装置(特)(指・一)	75,408,875	59,253,875	16,155,000	無人ホリMAXType II G外(38件)
栽培特許料(特)(指・一)	615,000	615,000	0	晃花の富士外(2件)
機械・設備取得資金(特)(指・一)	30,782,684	27,402,602	3,380,082	特定資産取得・改良資金
減価償却累計額(特)(指・一)(△)	-80,471,192	-73,379,705	-7,091,487	48件
特定資産合計	92,905,892	80,462,297	12,443,595	115.5%
(3) その他固定資産				
構築物	210,000	210,000	0	シャワーユニット
工具器具備品	43,050	43,050	0	代表者外印
機械装置	4,858,500	4,858,500	0	ホマナイ7外(10件)
電話加入権	152,880	152,880	0	2件
減価償却累計額(△)	-5,068,488	-5,068,488	0	12件(工具器具備品、電話加入権除く)
その他固定資産合計	195,942	195,942	0	100.0%
固定資産合計	123,101,834	110,658,239	12,443,595	111.2%
資産合計	264,554,417	249,719,998	14,834,419	105.9%
II 負債の部				
1. 流動負債				
事業未払金	19,338,999	21,904,085	-2,565,086	62件:公益50件、収益12件
未払金	1,878,112	1,229,371	648,741	25件:公益15件、法人10件
預り金	37,303	18,087	19,216	住民税、社会保険料等
仮受金	0	6,000	-6,000	
賞与引当金	1,854,016	1,811,847	42,169	
流動負債合計	23,108,430	24,969,390	-1,860,960	92.5%
2. 固定負債				
退職給付引当金	23,598,300	21,804,300	1,794,000	
固定負債合計	23,598,300	21,804,300	1,794,000	108.2%
負債合計	46,706,730	46,773,690	-66,960	99.9%
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
地方公共団体補助金	26,567,701	16,269,238	10,298,463	特定資産等導入補助金
寄付金	66,369,329	66,369,329	0	基本金、特定預金、普通預金
指定正味財産合計	92,937,030	82,638,567	10,298,463	112.5%

貸借対照表

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター

(単位：円)

会社名 会計全体

科目	当会計期間末 (令和3年3月31日現在)	前会計期間末 (令和2年3月31日現在)	増 減	備 考
(うち基本財産への充当額)	(30,000,000)	(30,000,000)	(0)	基本財産
(うち特定資産への充当額)	(52,667,700)	(42,369,237)	(10,298,463)	特定資産
2. 一般正味財産	124,910,657	120,307,741	4,602,916	
(うち基本財産への充当額)				
(うち特定資産への充当額)	(40,238,192)	(38,093,060)	(2,145,132)	特定資産
正味財産合計	217,847,687	202,946,308	14,901,379	107.3%
負債及び正味財産合計	264,554,417	249,719,998	14,834,419	105.9%

貸借対照表
(内訳表)
(令和3年3月31日現在)

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター

(単位：円)

会計名 会計全体

科目	公益目的 事業会計	収益等 事業会計	法人会計	内部取引 消去	合計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金	33,155	0	0		33,155
普通預金	91,222,739	14,078,520	7,236,579		112,537,838
事業未収入金	15,263,746	3,580,940	0		18,844,686
未収金	0		0		0
未収収益	552		11		563
たな卸資産	9,065,393	951,240			10,016,633
貯蔵品	14,172	84	252		14,508
他会計短期貸付金	226,521,692	34,371,426	0	-260,893,118	0
立替金	5,200	0	0		5,200
流動資産合計	342,126,649	52,982,210	7,236,842	-260,893,118	141,452,583
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
基本財産定期預金(基)(指定)			30,000,000		30,000,000
基本財産合計			30,000,000		30,000,000
(2) 特定資産					
定期預金(特)(指定)	26,100,000				26,100,000
構築物(特)(指・一)	24,756,031				24,756,031
車輛運搬具(特)(指・一)	14,014,803	1,699,691			15,714,494
機械装置(特)(指・一)	75,408,875				75,408,875
栽培特許料(特)(指・一)	615,000				615,000
機械・設備取得資金(特)(指・一)	30,782,684				30,782,684
減価償却累計額(特)(指・一)(△)	-78,771,503	-1,699,689			-80,471,192
特定資産合計	92,905,890	2			92,905,892
(3) その他固定資産					
構築物	210,000				210,000
工具器具備品	10,500		32,550		43,050
機械装置	3,790,500	1,068,000			4,858,500
電話加入権			152,880		152,880
減価償却累計額(△)	-4,000,490	-1,067,998	0		-5,068,488
その他固定資産合計	10,510	2	185,430		195,942
固定資産合計	92,916,400	4	30,185,430		123,101,834
資産合計	435,043,049	52,982,214	37,422,272	-260,893,118	264,554,417
II 負債の部					
1. 流動負債					
事業未払金	17,655,332	1,683,667	0		19,338,999
未払金	1,660,580	0	217,532		1,878,112
預り金	37,303	0	0		37,303
他会計短期借入金	231,251,502	0	29,641,616	-260,893,118	0
賞与引当金	1,854,016				1,854,016
流動負債合計	252,458,733	1,683,667	29,859,148	-260,893,118	23,108,430
2. 固定負債					
退職給付引当金	23,598,300				23,598,300
固定負債合計	23,598,300				23,598,300
負債合計	276,057,033	1,683,667	29,859,148	-260,893,118	46,706,730
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
地方公共団体補助金	26,567,701	0			26,567,701
寄付金	36,369,329		30,000,000		66,369,329
指定正味財産合計	62,937,030	0	30,000,000		92,937,030
(うち基本財産への充当額)			(30,000,000)		(30,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(52,667,700)	(0)			(52,667,700)
2. 一般正味財産	96,048,986	51,298,547	-22,436,876	0	124,910,657
(うち基本財産への充当額)					
(うち特定資産への充当額)	(40,238,190)	(2)			(40,238,192)
正味財産合計	158,986,016	51,298,547	7,563,124	0	217,847,687
負債及び正味財産合計	435,043,049	52,982,214	37,422,272	-260,893,118	264,554,417

正味財産増減計算書

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター

(単位：円)

会計名：会計全体	当会計期間	前会計期間	増減	備考
科目	自 至	自 至		
	令和02年4月1日～ 令和03年3月31日	平成31年4月1日～ 令和02年3月31日		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益				
基本財産受取利息	2,954	3,008	-54	
基本財産運用益計	2,954	3,008	-54	98.2%
特定資産運用益				
特定資産受取利息	2,846	4,558	-1,712	
特定資産運用益計	2,846	4,558	-1,712	62.4%
受取会費				
正会員受取会費	5,000,000	5,000,000		市300、JA200(山120, 杵80)
正会員特別受取会費	1,250,000	2,000,000	-750,000	市75、JA50(山30, 杵20)
受取会費計	6,250,000	7,000,000	-750,000	89.3%
事業収益				
農地賃借収益	4,866,774	5,479,290	-612,516	
農地手数料収益	440,000	620,000	-180,000	
農地利用雑収益	5,531	5,531		
農地利用集積円滑化事業収益計	5,312,305	6,104,821	-792,516	87%
耕起作業収益	358,860	372,973	-14,113	
畦塗り収益	831,870	841,941	-10,071	
荒水代掻収益	625,089	505,178	119,911	
田植え作業受託収益	1,317,363	1,136,375	180,988	
水稲収穫作業受託収益	5,846,954	5,843,379	3,575	
水稲裏作作業受託収益	17,474	8,000	9,474	大豆播種
農作業人夫使用料	14,200		14,200	パッパホ-OP外
薬剤散布収益	11,589,262	11,198,971	390,291	324ha麦16ha稲302ha大豆6ha
その他農地保全管理収益	11,498,269	9,467,920	2,030,349	森林組合・草刈り・エコフレンド'応援増
農地保全管理事業収益計	32,099,341	29,374,737	2,724,604	109.3%
水稲苗生産収益	31,544,791	28,724,566	2,820,225	54,271枚 107.7% 飼料米受託4612枚古
野菜苗生産収益	6,072,782	6,079,927	-7,145	88.0% プロッパー増、鉢'類外減
花卉苗生産収益	12,363,505	18,146,393	-5,782,888	花壇88%花き38%(87%/0%小1812%輪2%)
育苗雑収益	3,107,457	5,255,780	-2,148,323	薬用作物試験栽培、網室化資材
高次元農業推進事業収益計	53,088,535	58,206,666	-5,118,131	91.2%
堆肥供給収益	20,809,361	14,004,417	6,804,944	7リットル・バ'ラ98.5%、小袋168.2%
受託収益	3,546,467	3,500,106	46,361	7配86.8%、7散95.5%、小配99.4%
家畜糞尿処理請負収益	2,551,379	2,449,028	102,351	104.2%
エコフレンド'事業雑収益	7,920	1,744	6,176	梱包用資材
山香グリーンエコフレンド'事業収益計	26,915,127	19,955,295	6,959,832	134.9%
基盤償還徴収金収益		769,210	-769,210	
施設徴収保険料収益		180,000	-180,000	
施設徴収更新費収益		499,000	-499,000	
施設徴収償還金収益		2,836,610	-2,836,610	
杵築リース農園事業収益計		4,284,820	-4,284,820	-%
公共施設等管理作業収益	21,725,875	26,663,969	-4,938,094	市道等管理・蜂駆除減
収益事業収益計	21,725,875	26,663,969	-4,938,094	81.5%
事業雑収益	156,080	312,573	-156,493	
事業収益計	139,297,263	144,902,881	-5,605,618	96.1%
受取補助金等				
受取地方公共団体補助金	79,000	7,819,212	-7,740,212	
振替:受取地方公共団体補助金	4,387,901	4,190,100	197,801	指定正味財産からの振替額
受取地方公共団体助成金	300,000	600,000	-300,000	
受取補助金等計	4,766,901	12,609,312	-7,842,411	37.8%
雑収益				
受取利息	1,097	991	106	

正味財産増減計算書

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター

(単位：円)

会計名：会計全体 科目	当会計期間	前会計期間	増減	備考
	自 令和02年4月1日～ 至 令和03年3月31日	自 平成31年4月1日～ 至 令和02年3月31日		
その他雑収益	1,026,136	1,021,000	5,136	
雑収益計	1,027,233	1,021,991	5,242	100.5%
経常収益計	151,347,197	165,541,750	-14,194,553	91.4%
(2)経常費用 事業費				
(集積)農地賃借費	4,866,761	5,479,277	-612,516	
(集積)事業雑費	5,531	5,531		区費
農地集積円滑化事業費計	4,872,292	5,484,808	-612,516	88.8%
(保全)諸材料費	3,218,540	4,216,856	-998,316	ポンプ交換資材減、刈草剤・水稲除草剤
(保全)機械賃借費		23,008	-23,008	パワースタック減
(保全)その他作業委託費	1,855,750	3,047,375	-1,191,625	特→資格取得助成減、刈散布委託減
(保全)事業雑費		9,768	-9,768	
農地保全管理事業費計	5,074,290	7,297,007	-2,222,717	69.5%
(高次)種苗費	7,409,292	5,418,428	1,990,864	水稲種子、ヤブ代替小菊苗増
(高次)肥料費	245,430	278,902	-33,472	
(高次)農薬費	649,316	1,137,424	-488,108	ヤブ・輪菊防除減
(高次)諸材料費	5,357,126	5,185,269	171,857	培土、レイ、ボット等、小社増
(高次)委託栽培費	297,272	466,430	-169,158	葉草
(高次)出荷経費	758,966	315,833	443,133	小社調整出荷、ふれあい市場出荷経費
(高次)事業雑費	74,400	81,360	-6,960	苗箱洗浄作業委託、外
高次元農業推進事業費計	14,791,802	12,883,646	1,908,156	114.8%
(eco)原材料	80,620	191,747	-111,127	刈草 (122,246)
(eco)諸材料費	2,462,604	1,451,191	1,011,413	小袋用袋 (2,608,076)
(eco)燃料費	315,611	753,176	-437,565	作業機燃料 (458,794)
(eco)動力光熱費	1,094,922	3,130,102	-2,035,180	電気料 (1,689,971)
(eco)作業委託費	2,326,086	1,620,000	706,086	応援配送外 (2,634,057)
(eco)eco推進活動費	-3,952	7,899	-11,851	(695)
(eco)堆肥化雑費	16,280	16,542	-262	成分試験料
山香グリーンエコランド事業費計	6,292,171	7,170,657	-878,486	87.7%
(リース)基盤受託金		769,210	-769,210	
(リース)施設受託金		3,515,610	-3,515,610	
杵築リース受託事業費計		4,284,820	-4,284,820	-%
(公共)作業委託費	83,000	1,352,000	-1,269,000	交通誘導、リース、剪定委託減
(公共)請負委託仕入	144,117	278,510	-134,393	害虫駆除剤、外
公共施設等管理事業費計	227,117	1,630,510	-1,403,393	13.9%
事業原価計	31,257,672	38,751,448	-7,493,776	80.7%
(事)給料手当	59,092,502	61,623,501	-2,530,999	30名(職7職3職4P16)前年95.9%
(事)退職給付費用	1,794,000	1,796,500	-2,500	↑(59,375,931 :99.5%)
(事)法定福利費	6,701,002	8,874,007	-2,173,005	社会保険(7,125,609)
(事)福利厚生費	2,057,904	1,988,326	69,578	中退共外(2,126,172)
(事)賞与	1,854,016	1,811,847	42,169	
人件費計	71,499,424	76,094,181	-4,594,757	94.0%
(事)消耗品費	3,280,124	2,558,909	721,215	各事業：事務、用具等
(事)宣伝広告費	120,956	148,002	-27,046	コ：供給推進費
(事)通信運搬費	633,735	683,421	-49,686	各事業：電話、切手代
(事)図書研修費	136,440	42,000	94,440	免許、講習等
(事)事務委託費	1,108,444	1,117,428	-8,984	各振込手数料、事務応援
(事)租税公課	8,921,129	8,120,906	800,223	各事業：印紙、自動車、固定資産税、外
(事)会費分担金	9,000	5,000	4,000	高次：ふれあい市場会費
(事)保守修繕費	4,670,788	5,713,123	-1,042,335	修理等 (4,89,8139)
(事)保険料	1,794,636	2,204,033	-409,397	施設、農機等、傷害年払一月払
(事)水道光熱費	1,613,369	2,105,863	-492,494	各事業：水道、電気
(事)賃借料	1,247,425	1,179,064	68,361	特→ト、水稲苗、刈車両外

正味財産増減計算書

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター

(単位：円)

会計名：会計全体 科目	当会計期間		増減	備考	
	自 至	令和02年4月1日～ 令和03年3月31日			自 至
(事)消耗什器備品費		631,852	1,204,671	-572,819	コ：プリンタ、播种機、刈払い機等
(事)車輛費		1,845,170	1,862,217	-17,047	各事業：車検、整備費外修理減
(事)施設管理費		510,692	509,348	1,344	高次：コ：電気保安、警備保障
(事)燃料費		2,908,779	3,734,902	-826,123	機械、設備燃料
(事)減価償却費		7,091,487	7,241,479	-149,992	特定24種
(事)支払寄付金		581,177		581,177	コ：ソフト 指定管理納入金
(事)雑費		193,708	162,386	31,322	高次：ガム使用料外
その他事業経費計		37,298,911	38,592,752	-1,293,841	96.6%
事業費合計		140,056,007	153,438,381	-13,382,374	91.3%
管理費					
(管)給料手当		2,293,056	3,201,753	-908,697	
(管)法定福利費		371,684	453,093	-81,409	
(管)福利厚生費		86,248	97,924	-11,676	
人件費計		2,750,988	3,752,770	-1,001,782	73.3%
(管)会議費		4,761	5,980	-1,219	理事会・総会費用
(管)消耗品費		109,891	216,320	-106,429	事務消耗品
(管)通信運搬費		68,141	69,558	-1,417	通信、切手
(管)図書研修費		31,476	62,476	-31,000	新聞
(管)事務委託費		1,087,444	1,038,520	48,924	会計指導、税理士・社労士報酬、外
(管)租税公課		24,000	600	23,400	重量税
(管)会費分担金		37,000	51,000	-14,000	安全運転管理、公社、社 準組合員
(管)保守修繕費		210,287	230,824	-20,537	ゲートウェイ(インターネット)セキュリティ外
(管)保険料		47,446	58,600	-11,154	傷害保険、自動車保険
(管)水道光熱費		68,315	79,412	-11,097	
(管)賃借料		468,797	468,048	749	複合機、会計システム
(管)消耗什器備品費		20,680	28,520	-7,840	PC等増設
(管)車輛費		48,000		48,000	車検
(管)施設管理費		470,429	468,011	2,418	警備保障、ゴミ収集、外
(管)燃料費		55,176	58,862	-3,686	車輛燃料
(管)旅費交通費		64,000	92,000	-28,000	役員費用弁償
(管)雑費		14,743	40,333	-25,590	
その他管理費計		2,830,586	2,969,064	-138,478	95.3%
管理費合計		5,581,574	6,721,834	-1,140,260	83.0%
経常費用計		145,637,581	160,160,215	-14,522,634	90.9%
評価損益等調整前当期経常増減額		5,709,616	5,381,535	328,081	106.1%
当期経常増減額		5,709,616	5,381,535	328,081	106.1%
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
機械装置売却益			42,500	-42,500	
固定資産売却益計			42,500	-42,500	
経常外収益合計			42,500	-42,500	
(2) 経常外費用					
固定資産除却損			2	-2	
固定資産売却損計			2	-2	
経常外費用合計			2	-2	
当期経常外増減額			42,498	-42,498	
他会計振替前当期一般正味財産増減額		5,709,616	5,424,033	285,583	105.3%
税引前当期一般正味財産増減額		5,709,616	5,424,033	285,583	105.3%
法人税、住民税及び事業税		1,106,700	71,000	1,035,700	1558.7%
当期一般正味財産増減額		4,602,916	5,353,033	-750,117	86.0%
一般正味財産期首残高		120,307,741	114,954,708	5,353,033	104.7%
一般正味財産期末残高		124,910,657	120,307,741	4,602,916	103.8%
II 指定正味財産増減の部					

正味財産増減計算書

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター

(単位：円)

会計名：会計全体	当会計期間	前会計期間	増減	備考
科目	自 令和02年4月1日～ 至 令和03年3月31日	自 平成31年4月1日～ 至 令和02年3月31日		
受取補助金等				
受取地方公共団体補助金	14,686,364	5,333,000	9,353,364	小袋詰め機、ボット入れ機
受取補助金等計	14,686,364	5,333,000	9,353,364	
一般正味財産への振替額	4,387,901	4,190,100	197,801	104.7%
当期指定正味財産増減額	10,298,463	1,142,900	9,155,563	901.1%
指定正味財産期首残高	82,638,567	81,495,667	1,142,900	101.4%
指定正味財産期末残高	92,937,030	82,638,567	10,298,463	112.5%
Ⅲ 正味財産期末残高	217,847,687	202,946,308	14,901,379	107.3%

**正味財産増減計算書
(内訳集計表)**

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター
会計名 会計全体

(単位：円)

(自)令和2年 4月 1日 ～ (至)令和3年 3月 31日現在

科目	公益目的事業会計										法人会計	合計	
	農地利用集積円 滑化事業	農地保全管理事 業	高次元農業推進 事業	山香グリーンエコプラ ツ事業	杵築リーク農園事業	共通	小計	収益等事業会計 公共施設管理事 業					
I													
一般正味財産増減の部													
1. 経常増減の部													
(1) 経常収益													
基本財産運用益計												2,954	2,954
特定資産運用益計												2,846	2,846
受取会費計												3,178,250	6,250,000
事業収益													
農地利用集積円滑化事業収益計	5,312,305												5,312,305
農地保全管理事業収益計		32,099,341											32,099,341
高次元農業推進事業収益計			53,088,535										53,088,535
山香グリーンエコプラツ事業収益計				26,915,127									26,915,127
収益事業収益計												21,725,875	21,725,875
事業雑収益		10,000	61,080	85,000							156,080		156,080
事業収益計	5,312,305	32,109,341	53,149,615	27,000,127							117,571,388		139,297,263
受取補助金等計	310,000	1,638,614	2,492,962	325,325							4,766,901		4,766,901
雑収益計	42	160	404	4,955							1,020,316		1,027,233
経常収益計	5,622,347	33,748,115	55,642,981	27,330,407	1,408	4,093,504	126,438,762	21,725,875	3,182,560	1,356	151,347,197		
(2) 経常費用													
事業費													
農地集積円滑化事業費計	4,872,292												4,872,292
農地保全管理事業費計		5,074,290											5,074,290
高次元農業推進事業費計			14,791,802										14,791,802
山香グリーンエコプラツ事業費計				6,292,171									6,292,171
公共施設等管理事業費計												227,117	227,117
事業原価計	4,872,292	5,074,290	14,791,802	6,292,171							31,030,555		31,257,672
人件費計	1,093,825	12,149,522	24,591,428	11,152,731							63,849,240		71,499,424
その他事業経費計	85,255	10,731,749	13,725,466	7,560,795							32,398,200		37,298,911
事業費合計	6,051,372	27,955,561	53,108,696	25,005,697							127,277,995		140,056,007
管理費													
人件費計												2,750,988	2,750,988
その他管理費計												2,830,586	2,830,586
管理費合計													
経常費用計	6,051,372	27,955,561	53,108,696	25,005,697							127,277,995		145,637,581
当期経常増減額	-429,025	5,792,554	2,534,285	2,324,710	1,408	-11,063,165	-839,233	8,947,863	-2,399,014	5,581,574	5,709,616		

**正味財産増減計算書
(内訳集計表)**

法人名 公益社団法人梓薬市地域活性化センター
会計名 会計全体

(単位：円)

(自)令和2年 4月 1日 ～ (至)令和3年 3月 31日現在

科目	公益目的事業会計										法人会計	合計	
	農地利用集積円 滑化事業	農地保全管理事 業	高次元農業推進 事業	山香リゾート 事業	梓薬市-農園事業	共通	小計	収益等事業会計 公共施設管理事 業					
2. 経常外増減の部													
経常外費用合計													
当期経常外増減額													
他会計振替前当期一般正味財産増減額	-429,025	5,792,554	2,534,285	2,324,710	1,408	-11,063,165	-839,233	8,947,863	-2,399,014			5,709,616	
他会計振替額	-429,025	5,792,554	2,534,285	2,324,710	1,408	-6,843,850	4,219,315	-4,219,315				5,709,616	
税引前当期一般正味財産増減額								964,700		142,000		1,106,700	
法人税、住民税及び事業税													
当期一般正味財産増減額	-429,025	5,792,554	2,534,285	2,324,710	1,408	-6,843,850	3,380,082	3,763,848	-2,541,014			4,602,916	
一般正味財産期首残高	7,149,272	78,616,989	94,277,558	1,974,542	25,767	-89,375,224	92,668,904	47,534,699	-19,895,862			120,307,741	
一般正味財産期末残高	6,720,247	84,409,543	96,811,843	4,299,252	27,175	-96,219,074	96,048,986	51,298,547	-22,436,876			124,910,657	
II													
指定正味財産増減の部													
受取補助金等計			1,036,364	13,650,000						14,686,364		14,686,364	
一般正味財産への振替額		1,638,614	2,423,962	325,325						4,387,901		4,387,901	
当期指定正味財産増減額		-1,638,614	-1,387,598	13,324,675						10,298,463		10,298,463	
指定正味財産期首残高		8,646,871	7,622,367		14,100,000	22,269,329	52,638,567		30,000,000			82,638,567	
指定正味財産期末残高	6,720,247	7,008,257	6,234,769	13,324,675	14,100,000	22,269,329	62,937,030	51,298,547	30,000,000			92,937,030	
III													
正味財産期末残高		91,417,800	103,046,612	17,623,927	14,127,175	-73,949,745	158,986,016	51,298,547	7,563,124			217,847,687	

財 産 目 録
(場 所、物 量 等)
(令和3年3月31日現在)

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター

(単位：円)

会計名 会計全体

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
【資産の部】			
I 流動資産			
現金	手元保管	公1、運転資金として	33,155
普通預金(一般:公益共通、収益、法人) ※当該預金残高は、当科目とその他の積立資産(機械・設備等取得資金)を合算した額である。	JAおおいた山香支店	公1、収1、法人会計の共通財産口座No:0001015 公1:運転資金として ¥22,681,030 (うち公益事業に使用する寄付金 ¥10269329) 収1:運転資金として ¥14,078,520 法人:運転資金として ¥0	36,759,550
普通預金(作業受委託:農地保全)	JAおおいた山香支店	公1:運転資金として 口座No:0001651	11,383,456
普通預金(育苗:高次元)	JAおおいた山香支店	公1:運転資金として 口座No:0001805	9,309,319
普通預金(公益:共通)	大分県信用組合	公1:運転資金として 口座No:4008638	1,298,061
普通預金(法人)	大分銀行山香支店	公1:運転資金として 口座No:5028035	2,235,573
普通預金(法人)	ゆうちょ郵貯銀行	法人:運転資金として 口座No:17200-18584731	5,001,006
普通預金(高次元)	JAべっぶ日出亀川駅前支店	公1:運転資金として 口座No:0021111	441,135
普通預金(高次元)	JAべっぶ日出日出支店	公1:運転資金として 口座No:0011743	5,947,400
普通預金(高次元)	JAおおいた杵築支店	公1:運転資金として 口座No:0032043	3,723,927
普通預金(農地:集積)	JAおおいた杵築市店	公1:運転資金として 口座No:0032214	3,843,330
普通預金(杵築:保全)	JAおおいた杵築支店	公1:運転資金として 口座No:0043423	4,250,680
普通預金(eco)	JAおおいた山香支店	公1:運転資金として 口座No:0005606	28,220,996
普通預金(リース特会)	JAおおいた杵築支店LE	公1:運転資金として 口座No:0032203	123,405
普通預金			
普通預金計			112,537,838
預金計			112,537,838
事業未収入金(集積)	農地利用集積円滑化	公1:農地貸借に関する未収金	160,000
事業未収入金(保全)	農地保全管理	公1:農地保全に関する未収金	761,499
事業未収入金(高次)	高次元農業推進	公1:育苗に関する未収金	4,954,738
事業未収入金(eco)	山香グリーンエコランド*	公1:家畜糞尿処理・堆肥化に関する未収金	6,866,406
事業未収入金(リース)	杵築リース農園	公1:リース農園使用に関する未収金	2,521,103
事業未収入金(収益:公共)	公共施設等管理	収1:収益活動に関する未収金	3,580,940
事業未収入金計			18,844,686
未収収益		公1:定期預金(特定資産)未収利息 ¥552 法人:定期預金(基本財産)未収利息 ¥11	563
棚卸資産:諸材料		公1:農地保全・高次元・堆肥、収1に関する棚卸資産	3,968,289
棚卸資産:原材料		公1:堆肥化処理に関する棚卸資産	14,904
棚卸資産:仕掛品		公1:堆肥化処理に関する棚卸資産	2,117,217
棚卸資産:製品		公1:堆肥化処理に関する棚卸資産	3,916,223
たな卸資産計			10,016,633
貯蔵品:切手	手元保管	公1:¥11,572、収1:¥84、法人:¥252	11,908
貯蔵品:収入印紙	手元保管	公1:施設利用等契約時に使用	2,600
貯蔵品計			14,508
立替金		公1:大分県産業廃棄物処理業協会・処理伝票	5,200
流動資産合計			141,452,583
II 固定資産			
1 基本財産			
基本財産定期預金(基)	JAおおいた山香支店	法人の運転資金の財源とするため保有運用益を管理費の財源として使用 口座No:00677466	30,000,000
基本財産合計			30,000,000
2 特定資産			
定期預金(特)(指定)	JAおおいた杵築支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的費用の財源として使用 口座No:06019161	12,000,000
定期預金(特)(指定)	JAおおいた杵築支店	公益目的保有財産であり、リース農園事業費用に備えたもの 口座No:07336715	14,100,000
特定資産定期預金計(特)			26,100,000
構築物(特)(指・一)	ハウス設備	公1:公益目的事業に使用	24,756,031

財 産 目 録
(場 所、物 量 等)
(令和3年3月31日現在)

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター

(単位：円)

会計名 会計全体

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
車輦運搬具(特)(指・一)	軽トラック、軽箱バン、 ミニバス レッカー	公1:公益目的事業に使用 取1:収益目的事業に使用	¥14,014,803 ¥1,699,691
機械装置(特)(指・一)	産業用無人ヘリコプター、田 植機、コンバインほか	公1:公益目的事業に使用	75,408,875
栽培特許料(特)(指・一)	輪菊栽培特許料	公1:公益目的事業に使用	615,000
機械・設備取得資金(特)(指・一)	特定資産取得・改良資金 JAおおいの山香支店	特定資産所得・改良資金として積み立てる資産であり、 資産取得資金として管理されている。 公1:定期預金 口座No:09477856 ¥27,402,602 公1:普通預金 口座No: 0001015 ¥3,380,082	30,782,684
減価償却累計額(特)(指・一)(△)		公1:公益目的使用資産減価償却 ¥-78,771,503 取1:収益目的使用資産減価償却 ¥-1,699,689	-80,471,192
特定資産合計			92,905,892
3 その他固定資産			
構築物	シャワーユニット	公1:公益目的事業に使用	210,000
工具器具備品		公1:公益目的事業に使用 法人:管理目的として使用	¥10,500 ¥32,550
機械装置	育苗台車、ディスクロータリー ハンマーナイフ	公1:公益目的事業に使用 取1:収益目的事業に使用	¥3,790,500 ¥1,068,000
電話加入権	2回線	法人:管理目的として使用	152,880
減価償却累計額(△)		公1:公益目的使用資産減価償却 ¥-4,000,490 取1:資産減価償却 ¥-1,067,998	-5,068,488
その他固定資産合計			195,942
固定資産合計			123,101,834
資産合計			264,554,417
【負債の部】			
I 流動負債			
事業未払金(集積)	農地賃借料ほか	公1:農地賃借に関わる未払金	338,276
事業未払金(保全)	修繕費ほか	公1:農地保全に関わる未払金	312,907
事業未払金(高次)	諸材料ほか	公1:育苗に関わる未払金	7,452,120
事業未払金(eco)	通信運搬費	公1:家畜糞尿堆肥処理に関わる未払金(直接)	591,091
事業未払金(リース)	施設更新料ほか	公1:リース農園使用に関わる未払金	2,633,877
事業未払金(公益:共通)	法定福利費ほか	公1:公益目的共通に関わる未払金	6,327,061
事業未払金(収益:公共)		取1:収益活動に関わる未払金	1,683,667
事業未払金計			19,338,999
管理外(法人) エコポイント	車輦費ほか	法人会計に関わる未払金 公1:家畜糞尿堆肥処理に関わる未払金(立替)	217,532 1,660,580
未払金計			1,878,112
預り金	源泉徴収税、住民税	公1に関わる預り金	37,303
賞与引当金	職員に係るもの		1,854,016
流動負債合計			23,108,430
II 固定負債			
退職給付引当金		公1:退職給付引当金	23,598,300
固定負債合計			23,598,300
負債合計			46,706,730
正味財産			217,847,687

令和3年度

株式会社	きつとすき
事業	計画書

令和3年度事業計画

2021年度は、これまでの3年間の成長を土台に、会社の経営基盤をより安定・確固たるものにする1年とします。

2021年の全社スローガンは「脚下照顧」。文字通りもう一度原点に立ち戻り足もとを見直そうという意味です。

今年は改めて、その仕事は「収益」を生むのか、その仕事は「公益性」があるのか、つまり「まち」や「まちの人々」に喜んでもらえるのか。そして、その仕事は「持続性」、つまり市や会社の発展に寄与するのか、もう一度目の前の仕事を真摯に見つめ直して、その接点を探る1年とします。

【杵築ブランド事業部】

商工観光課からの以下の受託事業の実施により、杵築ブランド商品及び杵築市の商品の拡充、拡販を行い、地域産業の振興と地域経済の活性化を図る。

1. 食のマイクロツーリズム事業
2. 杵築ブランドバイヤーズガイド作製事業

【ふるさと納税事業部】

商工観光課からの以下の受託事業の実施により、寄附受付サイトの運営や寄附情報の管理、返礼品の発注・発送、また各種寄附証明の発行業務を行う。

また、寄附の増大を図るため、返礼品開発支援や新規事業者の開拓、広告制作、各種プロモーションを実施し、景気動向や返礼品の偏りなどに左右されない寄附総額の安定化を図る。

・平準化を図り寄附総額6億円を実現する。

1. ふるさと納税包括代行業務
2. ふるさと納税関連書類発送等業務

【ドローン事業部】

コロナ禍が収束し次第、観光協会と連携してドローンの魅力を付加した観光施策（ドローンバスポート、メモリアルドローン、VRドローン体験）の実施、ドローン撮影事業、機材販売事業、県・市の補助事業への参画などによりドローン事業の収益化を目指す。

昨年コロナ禍で全ての計画が持ち越しとなった、プログラミング体験を通しての修学旅行の杵築への誘致、またドローンサッカープロジェクトのプロデュースなど、同事業部をコンテンツ部門として拡大する機会を探る年とする。

【自主事業】

昨年度約 250%拡大させた自主事業を今年度も自社商品の扱い点数拡大と販路拡大を念頭にさらなる伸長を実現する。

具体的にはふるさと納税事業部との協働で自社扱い商品の返礼品として開発を行い、外貨獲得に繋げる。

令和3年度

株式会社	きつとすき	
予	算	書

令和3年度株式会社きっとすき予算

【売上】

単位：千円

種別	事業内容	金額
受託	ふるさと納税事業部	164,106
受託	ブランド事業部	11,300
自主	ブランド事業部	13,560
自主	ドローン事業部	4,000
	①合計	192,966

【支出】

単位：千円

種別	項目	金額
受託	ふるさと納税事業部	140,689
受託	ブランド事業部	2,836
自主	ブランド事業部	11,022
自主	ドローン事業部	1,000
経費	長期未払金	2,066
	支払手数料	120
	諸会費	38
	役員報酬	6,000
	給料手当	17,250
	法定福利費	3,604
	厚生費	140
	研修費	0
	リース料	48
	地代家賃	228
	事務用消耗品費	320
	通信費	615
	租税公課	63
	接待交際費	230
	保険料	32
	備品消耗品費	260
	管理諸費	598
	車両費	170
	雑費	168
	水道光熱費	348
	支払利息	99
	労働保険	300
	修繕	50
	旅費交通費	600
	寄付金	3
広告宣伝費	0	
	経費合計	33,350
	②合計	188,897

	経常利益①-②	4,069
--	---------	-------

令和2年度

株	式	会	社	き	っ	と	す	き
事	業	報	告	書				

令和2年度報告

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

株式会社きっとすきの3期目は「杵築ブランド事業部」、「ふるさと納税事業部」、「ドローン事業部」の3事業部がそれぞれ、市の商工観光課、農林水産課からの「受託事業」と商社自らが企画・実施する「自主事業」に取り組んだ。

I. 杵築ブランド事業部

1. 受託事業（商工観光課業務）

1) 杵築ブランド推進協議会

<事業の目的>

杵築ブランドの確立及び魅力の戦略的な全国発信、地域経済の活性化を目的として設立された杵築ブランド推進協議会を運営することで、その設立趣旨達成を目指した。

<実施内容>

① 現行の杵築ブランド事業に係る規定等の問題点の抽出及び改定

杵築ブランド推進協議会設置要綱の第1条で規定する杵築ブランド推進協議会設置の趣旨「杵築市の豊かな自然、文化、歴史を背景とした地域資源を活用した杵築ブランドを確立するとともに、その魅力を戦略的に全国に発信し、地域経済の活性化を図る」を達成するにはそれぞれの要綱・要領等がどうあるべきかを検討した。

- ・ 杵築ブランドの制度設計

汎用性の高い一次産品も認定できるような認定基準に見直した。

- ・ 杵築ブランドの認定基準及び採点方法

認定の対象となる事業者や産品に関する内容を見直し、すべての項目が相対評価であった前年度までの採点方法を、一部を絶対評価にした上で評価項目の重要度に応じた配点に是正した。

- ・ 不明瞭な杵築ブランド認定品の全体像

現行の杵築ブランド認定品のうち、認定基準に合致しない産品を留保でき、かつ今後の審査においてはこれまでの様な矛盾が生じない認定基準に見直した。

- ・ 杵築ブランド認定に係る事務作業等

不必要と思われる、また重複している書類や項目を削除し、事業者の申請業務に負担の簡素化を図った。

- ・ 工芸品やサービス等の食品以外の扱いについて

商品の性質上、画一的な認定基準の設定や食品に関する専門家である現行の審査委員では審査が困難である事から、事業者からの申請があった場合に、その商品の性質に適した基準の設定及び審査委員の選定を適宜行うこととした。

② 杵築ブランド推進協議会総会の開催及び運営

- ・ 第1回杵築ブランド推進協議会総会

前年度の事業報告及び本年度の事業計画、杵築ブランド事業に係る規定変更の必要性及び改定の要点について、書面による説明及び採決を行い、満場一致で承認を得た。

- ・ 第2回杵築ブランド推進協議会総会

杵築ブランド認定審査委員会における審査結果を協議会に報告し、第二次審査を通過した製品に関する杵築ブランド認定の採決を行い、有限会社オレンジ農園「かぼすポン酢」、山香ゆうきの会「山香米(ひのひかり)」、アドバンストメディカルコミュニケーションズ株式会社「EGOMAOIL(エゴマ油)」、JA おおいた 東部事業部 杵築柑橘選果場「きつきみかんストレートジュース」の全てが満場一致で杵築ブランドに認定された。次に、令和元年度までに杵築ブランドに認定された製品の数え方に関する審議を行い、統一化を図ることで決定し、これまで25品目53品と数えていた品目及び品数を25品目62品とした。

最後に、令和2年度の杵築ブランドに係る受託事業の進捗状況について報告を行った。

2) 杵築ブランド認定制度運営

<事業の目的>

杵築ブランド認定審査委員会を運営する事により、杵築ブランドの価値及び魅力の底上げに不可欠である認定品の拡充を図るとともに、審査委員会に出品された市内産品に関する改善点等のフィードバックを行うことで付加価値向上を図った。

<実施内容>

① 新たな杵築ブランド認定品の候補となる市内産品の発掘

令和2年9月号の広報きつきにおける募集、事業者への直接の呼び掛けを行い、令和2年度杵築ブランド認定品の候補となる市内産品を募った。

② 商品開発や流通業、製品の6次化等に知見がある有識者の選定及び招聘

前年度まで審査委員は大分県外から招聘していたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、大分県外からの審査委員招聘が困難であったため、杵築市を除く大分県内から下記を審査委員として選定し、日程調整を行った。【五十音順・敬称略】

- ◆ 伊東 光一
所属・肩書き：ホテル白菊・洋食料理長
専門分野等：外食産業
- ◆ 清国 富夫
所属・肩書き：大分航空ターミナル・商事部部长
専門分野等：流通業（土産物店）
- ◆ 木下 哲郎
所属・肩書き：大分一村一品・代表取締役
専門分野等：流通業（地方の特産品）
- ◆ 村上 健
所属・肩書き：立命館アジア太平洋大学 学長室 室長
専門分野等：商品開発全般

③ 審査委員会の開催及び運営

令和2年10月30日（金）に、きつき生涯学習館において、オレンジ農園「かぼすボン酢」、山香ゆうきの会「山香米(ひのひかり)」、AMC「EGOMAOIL(エゴマ油)」、JA おおいた杵築柑橘選果場「きつきみかんストレートジュース」の認定審査を行い、全ての産品が認定基準を満たしていると評価された。

審査委員の米ント

- ◆ オレンジ農園「かぼすボン酢」
米ント：商品名に更なる工夫を。
醤油も杵築市産であればなお良い。
自家消費や業務用のペットボトルもあると良い。
- ◆ 山香ゆうきの会「山香米(ひのひかり)」
米ント：2kg位の量目もあると良い。
山香米のラベルに献上米のシールを貼付しては？
- ◆ AMC「EGOMAOIL(エゴマ油)」
米ント：低価格化への努力を。
法令上問題がない方法で、健康効果を謳った販売への取組を。
エゴマの価値を伝える努力を。
- ◆ JA おおいた杵築柑橘選果場「きつきみかんストレートジュース」
米ント：商品に杵築の文字を入れるべき。杵築柑橘選果場の文字を入れると、選ばれた果実という印象を与える。

飲みきりサイズの規格があると良い。ターゲット毎の規格を。
3本程度のギフトパッケージがあると良い。

3) 人材育成支援事業

<事業の目的>

自社製品の杵築ブランド認定を目指す市内事業者を対象に、商品設計やマーケティング、ラベルデザインなどの面から支援するなど、事業者自身では解決が困難な課題にともに取り組み、新商品の開発や既存商品のブラッシュアップを行い、売れる商品づくりを目指した。

<実施内容>

① 杵築ブランド認定を目指す市内事業者を抽出し、対象とする事業者の選定

令和2年6月号の広報きつきにおける募集、事業者への直接の呼び掛けを行い、事業の対象となる事業者を募り、応募のあった6事業者に対し、聞き取り調査を行った結果、小倉養生所、オレンジ農園、山香ゆうきの会を事業の対象とした。

② 選定した事業者に対する聞き取り調査の実施。課題の洗い出し及び解決策の策定

③ 新商品の開発支援及び既存商品のブラッシュアップ支援

◆ 小倉養生所

聞き取り調査内容

生菓を始めとする杵築市の産品を使用した新商品を開発することで、杵築市の活性化に繋げたい。

課題

これまで商品を開発した経験がないため、イメージや思いは色々であるが、何に手を付けてどの様にすれば良いかが全くわからない。

方向性

杵築市で生産されている生菓を使用して、どのような商品を作ることができるかについて調査し、新たに開発する商品が決定したら、商品に関するコンセプトやバリエーションなどについて方向性を決定し、パッケージデザイン等を行い、新商品としての形を整える。

商品開発

杵築産の生菓を使用して作ることができる加工食品について様々な提案をした結果、餡に生菓を使用することが多い月餅を新商品として開発することとした。

小倉養生所は新商品のアイデアとして、

- ・高級感を出したい。

- ・消費者が買いやすい価格（700円～800円程度）にしたい。
- ・商品の内容を、3種類各1個入程度にしたい。
- ・商品の内容を、季節や年度によって変更したい。
- ・素材として、よもぎ・抹茶・栗・桑の実・みかんの外皮等を検討している。

とのことであったが、これらのアイデアをそのまま具現化した場合、様々な問題点が予想されたことから、極力アイデアを反映した上で商品としての体裁を整えられる方法として、

- ・箱入りでの商品化
 - ・一つ一つを小さめにして、3個入900円（税抜）での価格設定
 - ・主となる種類を2個入で固定化し、季節等に応じて残りの1個を変化させる
 - ・印刷ロットの都度、記載事項を変更することができる貼箱での商品化
- を提案し、小倉養生所が了承したため、パッケージデザイン及び月餅の作成を行った。パッケージデザインは、株式会社グリーンサークル(別府市駅前町9-20-2F)に依頼し、月餅は株式会社松山堂(杵築市大字杵築173番地1)に製造委託することとした。

◆ オレンジ農園

聞き取り調査内容

自社製品である6種類のパウチ入りゼリー（かぼす・みかん・河内晩柑・いちご・キウイ・抹茶）の杵築ブランド認定申請を検討しているが、パッケージに不備（飛沫発生など）があるため、現状での杵築ブランド認定は困難であると感じている。

課題

- ・現在、液体の注入時に漏斗を使用しているため、作業効率が大幅に低下している。
- ・製品の内容量を削減することを検討しているが、既存の取引先における販売への影響や他県の類似商品との競争力を考慮して、躊躇している。

方向性

- ・現在使用している充填機のメーカーに、漏斗を使用せずに飛沫発生を防止できないか相談する。
- ・類似商品を製造している事業者の先進事例を調査する。

解決策及び商品ブラッシュアップ

- ・ノズルの先端に逆止弁付きの部品を装着することで飛沫発生を一定程度防ぐことが出来た。
- ・内容量を減らすことで飛沫発生をほぼ予防できることが判明した。

- 他県の類似商品の量目が 150g 前後であったことから、現在 165g の内容量を 150g まで減らすこととした。
- 内容量変更に伴い、一括表示の変更が必要になることから内容量を変更した新たな一括表示ラベルを手配した。その際、これまでオレンジ農園が使用していた一括表示ラベルは、
 - ・ 価格が高い。
 - ・ 内容変更に伴う版代が必要。
 - ・ 単価抑制のために一度の発注量を多くする必要がある。
 - ・ 賞味期限を手作業で打刻しているため、人件費がかかる。
 - ・ 記載内容の変更に伴い、既存の一括表示ラベルは廃棄しなければならない。

などの問題点があったことから、きつとすきが所有するラベルプリンターで一括表示ラベルを発行できるように手配し、これらの問題点を解決した。

◆ 山香ゆうきの会

現状

山香ゆうきの会では、自社製品である山香米の杵築ブランド認定を目指して、杵築ブランド事業の立上げ以来、毎年杵築ブランド認定審査委員会（以下、審査会という）に出品してきたが、「品質基準が甘い」や「品種別のパッケージ化がされていない」など、その都度様々な理由で認定されなかった。日本のほぼ全域で栽培され、一般消費者が恒常的に購入・喫食する米を、誰もが一目で判別できる基準で商品化することが困難であり、杵築ブランドとして認定されるにはどの様にすべきか壁にぶつかっている。

課題

- 生産者によって、農法などが異なる。
- 生産者によって、製品の品質が異なる。
- 生産者によって、取組の姿勢に相違がある。
- 品種別の作付面積や収量を把握していない。
- 新たな商品化をする際に、何を基準にすれば良いのか判らない。
- 各生産者が個別の顧客を保有しているため、新規の顧客を必要としていない。
- 新たな基準で商品を作った際に数量をどの程度確保できるか不透明である。
- 少量パックでの商品化に興味があるが、機材導入が容易ではない。
- 自社の強み、自社製品の強みを今一つ整理できていない。

方向性

- 年度毎の品種別の作付面積や収量を把握する。
- 新商品に反映できる自社の強み、自社製品の強みを整理する。

- 山香ゆうきの会の製品の価値が、消費者に伝わりやすい基準を設定する。
- 新たな規格での商品化が可能となる機材を、補助金等を活用することで導入できないか検討する。
- 既存の顧客に販売するよりも、新商品として販売することに生産者が利益を実感できるようにするため、新商品の価格は、既存の顧客に対する納品単価より大幅に単価を上げた設定にする。
- 新商品の需要量に応じて、新商品への供給量も増やせるよう体制を整える。

商品開発

【企画】

白米2合(300g)位の少量パックを、他ではあまり見られない、人目を惹く形状で商品化することを商社から提案した。提案の理由としては、ある程度単価が高くても、品質の良い米を少量で販売することで、試しに食べてみたい、お土産に持って帰りたいなどの需要があり、そこに商機を見出すことが出来るのではないかと思われたからである。

【機材導入】

山香ゆうきの会では以前から少量パックでの商品化には興味があったが、機材を導入する必要がある、導入費用を捻出することが困難であったため、日頃から取引のある福岡県の株式会社ニッショクに少量パックでの商品化が必要な時にだけ外注に出すつもりであった。山香ゆうきの会がこれまで販路の対象として来なかった土産物店や百貨店などの一般消費者に直接商品を販売する店舗も販路に含むことができるようにするために、白米の少量パックでの商品化が可能な機材の導入費用を本事業において補助することとし、令和2年10月に機材を導入した。これにより、杵築ブランド認定の第二次審査の十分条件である「商品の企画やパッケージデザインなどに独自性があり、消費者の購買意欲を著しく喚起する。」を一定程度満たすことができたものと思われる。

【基準策定】

次に、杵築ブランドとして流通させる際の米の選別基準を策定することとした。まず、全国の自治体や農協などの団体が独自に設定している基準を整理した所、いずれの基準も数値にこそ多少の違いはあるものの、項目に大差は無く、これらの基準を満たした米が一般的に流通している米とどの様な違いがあるかは、消費者には判別しにくいものと思われた。

また、昨年山香ゆうきの会が設定した基準（以下、昨年度基準という）で米を選別した際に、基準を満たす米の量が、全体の半以下にまで減少してしまうという問題もあった。

そこで、杵築ブランドとして出荷する米の基準の設定に関する方向性を以下の点に考慮して商社が策定し、山香ゆうきの会に提案した。

- ◇ 消費者が最も重視すると思われる美味しさと、次に一定層が重視すると思われる安全性に焦点を絞ること
- ◇ 消費者に広く知れ渡っている基準であること
- ◇ その基準で選別した際に、基準を満たす米の量がある程度確保できること

それを受けて山香ゆうきの会は、以下のように新たな基準（以下、新基準という）を設定した。昨年度基準と新基準を以下にまとめた。なお、太字で記した項目は、2つの基準に異なる点がある項目である。

	項目	昨年度基準	新基準
生産基準 (栽培方法)	有機質肥料	100%	100%
	有機質肥料投与年数	なし	5年以上
	化学合成農薬	慣行栽培比 50%以下	慣行栽培比 50%以下
品質基準 (玄米)	検査等級（農産物検査）	1等	1等
	整粒歩合	75%	75%（非公表）
	タンパク質含有率	7.0%以下	7.0%以下（非公表）
	大きさ	2.0mm 以上	1.85mm 以上
	食味値	80 点以上	80 点以上
	色彩選別機	必須	必須

【価格設定】

次に、少量パックで商品化した米（以下、新商品という）を、想定される流通先に販売するためには、どのように商品価格及び卸売価格等を設定すべきであるかを試算し、その結果を商社から提示した。試算の際は、以下の点に考慮した。

- ◇ 商品価格が消費者の購買意欲を喚起する範疇に納まっていること
- ◇ これまでの山香ゆうきの会の卸売単価を大幅に上回る卸売単価であること
- ◇ 首都圏などの遠方や利益幅を大きくとる小売店等を納品先とした場合でも、対応できる価格構造になっていること

山香ゆうきの会のこれまでの商品（以下、既存商品という）と新商品の価格設定について、以下にまとめた。

	既存商品	新商品	備考
量目	5kg	300g	
売価	2500 円	540 円	税込価格
キロ単価換算	483.9 円	988 円	包装資材費込み
卸売価格	—	324 円	税込価格
ロット	—	30p	

上記の価格に設定することで、小売店が必要とする利益率が 40%未満であれば、中間業者が介入した際も中間業者の利益を確保することができる。また、例えば関東地方の小売店が利益率 35%を必要とする場合でも、中間業者の利益の中から送料を捻出することができるため、首都圏などの遠方を納品先として想定することができる。

【GS1 コードの取得】

新商品を土産物店や百貨店などで販売する際に、JAN コードの記載が必要となるため、JAN コードの記載に必要となる GS1 コードを取得した。GS1 コードの取得は代理での申請が不可であるため、商社が申請に必要な手続き等を支援した。

4) 販路開拓支援

<事業の目的>

杵築ブランド認定品を始めとする市内の優れた製品の定番化に向けた取組を行うことにより、市内製品の売上向上及び取引先拡大を図った。

<実施内容>

(1)首都圏小売店における定番化支援

① 首都圏小売店との商談などによる市内製品の売込みの実施

東京を中心に店舗を構える株式会社 紀ノ國屋との商談を実施し、定番化の可能性がある市内製品について聞き取りを行い、定番化に際し、満たしていなければならない条件を確認した。その後、納品価格の提示やサンプル送付を行った。

② 定番化の際に必要な書類の作成または作成支援

商品見積書兼仕様書の作成及び提出、細菌検査の依頼及び結果の提出を行い、リードタイム及び休業日、発注ロット及び発注方法について折衝した。季節商品に関しては、あらかじめ納品日や発注数量の取りまとめを行った。また、プライスカードに掲載する商品写真の手配や送付を行った。

③ 定番化実現

今村農園の「おひさまきらりん」、絆屋の「りゅうきゅう1人前（真鯛・ぶり・真あじ）」、松山堂の「和菓子各種（みそまんじゅう・やぶれまんじゅう・しそまんじゅう・どら焼き・ゆき笹・三万二千石・烏骨鶏かすてら・きつき抹茶かすてら）」の3事業者12品の定番化が実現し、総額（税込）で722千円を納品した。

④ 定番化実現後の販促物作成及び販促活動の実施

長期的な取引継続や紀ノ國屋の別店舗への展開に繋げるために、定番化が実現した商品に関するPOP作成及び送付や在京大分県人会に対する呼びかけなどを実施した。

(2)ECサイトにおける定番化支援

杵築市観光協会が運営するECサイトが、令和2年2月に閉鎖されたため、市内製品の新たな展開場所として大分県公式の通販サイトである「おんせん県おおいたオンラインショップ」を選定し、掲載に係る業務の一切を執り行った。

① ECサイト運営者との商談などによる市内製品の売込みの実施または支援

まず、「おんせん県おおいたオンラインショップ」の運営者である大木化粧品株式会社

に市内事業者及び市内製品の幅広い新規展開を交渉し、大木化粧品の了承を得た。次に、同サイトにおいて自社製品を新規掲載する意向がある事業者を募り、その旨を希望する事業者に対し、サイトの概要やサイトにおける製品掲載に至るまでに必要とな

る業務、産品掲載後の取引の流れ等について、大木化粧品株式会社及び地域商社から説明し、市内事業者の自社商品に関する商談を実施した。

② EC サイト掲載の際に必要な書類の作成及び商品画像提出に関する業務

それぞれの事業者及び産品をサイト掲載するために必要となる情報を整理し、書類を作成、提出した。また、サイトに掲載される商品画像の手配及び提出を行った。

③ EC サイト掲載後の売上向上を目的とする販売促進活動

サイトに掲載された商品の、売上向上に繋げるための販売促進活動として、朝日新聞朝刊紙面広告による情報発信を実施した。

5) 杵築ブランド推進事業

<事業の目的>

取引先や一般消費者に対する杵築ブランドの認知度向上及び品質周知を図った。

<実施内容>

(1) 杵築ブランド紹介コーナー設置

令和2年8月から令和3年3月までの約8か月間、大分空港ターミナルビル内土産物店「旅人」横において、杵築ブランドに関する概要や杵築ブランド認定品のPOPを月替わりで展示し、展示期間中にはその杵築ブランド認定品の「旅人」における販売検証を実施した。展示品に関する概要は、以下のとおりである。

表ー1 期間別展示事業者及び展示品

事業者名・他	展示品名	期間
杵築市	杵築ブランド事業	通期
絆屋	杵築 りゅうきゅう各種	令和2年8月
絆屋	りゅうきゅうたれ	〃
若栄屋	冷やし鯛茶漬	令和2年9月
今村農園	おひさまきりんジュース	〃
高橋水産	別府湾かちえび	令和2年10月
高橋水産	別府湾焼きえび	〃
豊予農場	まるごと青島みかんコンフィチュール	〃
豊予農場	完熟梨のコンフィチュール	〃
豊予農場	温デココンフィチュール	〃
豊予農場	杵築アンコールコンフィチュール	〃
きつき紅茶	匂い桜花入り ティーバッグ	令和2年11月
きつき紅茶	べにふうき ティーバッグ	〃

オレンジ農園	かぼすジンジャーハニー	〃
JA おおいた杵築柑橘選果場	ハウス美娘	令和2年12月
松山堂	みそまんじゅう	〃
松山堂	三万二千石	〃
お茶のとまや	煎茶「杵築城」	令和3年1月
木付や	きつきシャリ羊羹	〃
木付や	きつき抹茶シャリ羊羹	〃
大分水産	温泉うなぎ 蒲焼 大	令和3年2月
中野酒造	智恵美人 純米大吟醸	〃
綾部味噌醸造元	豊後國 杵築 かぼす味噌	令和3年3月
中野酒造	ちえびじん 紅茶梅酒	〃

展示期間終了後に、オレンジ農園の「かぼすジンジャーハニー」の「旅人」における定番化が実現し、事業終了後に、高橋水産の「別府湾焼きえび」と「別府湾かちえび」の定番化が実現した。

(2)KDT における放映

令和2年10月5日～令和3年2月2日（計16週）にわたって、KDTの番組（番組名：ど〜んと+PLUS）内に「おじゃまします 杵築ブランド編」というコーナーを設け、杵築ブランド認定事業者及び認定品を、1事業者あたり計42回、約340分間を紹介した。放映に関する概要は、以下のとおりである。

表ー2 放映スケジュール

放映回	放映日	撮影日	事業者名	認定品名
第1回	10/5～	9/15	木付や	きつきシャリ羊羹・ きつき抹茶シャリ羊羹
第2回	10/12～	9/22	きつき紅茶	きつき紅茶
第3回	10/19～	9/29	高橋水産	別府湾かちえび・別府湾焼きえび
第4回	10/26～	10/6	絆屋	杵築 りゅうきゅう（7種）・ 杵築の漬魚(ZUKE)（12種）
第5回	11/2～	10/13	若栄屋	鯛茶漬け うれしの
第6回	11/9～	10/27	豊予農場	コンフィチュール各種（5種）・ ジュース各種（2種）
第7回	11/16～	11/2	大分水産	温泉うなぎ 蒲焼・白焼
第8回	11/23～	11/10	大分ファーム	ぶんご活きいき卵 鹿鳴越おうはん
第9回	11/30～	11/17	中野酒造	智恵美人・ちえびじん各種・ ちえびじん 紅茶梅酒
第10回	12/7～	11/24	JA おおいた柑橘選果場	ハウス美娘・杵築ハウスみかん R-13
第11回	12/14～	10/23 12/1	綾部味噌醸造元	豊後國 杵築 かぼす味噌
第12回	12/21～	12/8	オレンジ農園	かぼすジンジャーハニー
第13回	1/11～	12/15	松山堂	三万二千石・みそまんじゅう
第14回	1/18～	12/22	ニード牧場	山香牛
第15回	1/25～	1/12	お茶のとまや	煎茶「杵築城」・落雁「豊生」
第16回	2/2～	1/19	今村農園	おひさまきらりん・ 蔵姫完熟生搾り 100%ジュース

放映を視聴した杵築市民の購入に繋げることを意図して、番組では認定品の販売価格や杵築市内における販売場所などの情報発信も併せて行ったが、放映後には、杵築ふるさと産業館に放映を観て買いに来たという市民が一定数いた。

(3)大分県内宿泊施設・飲食店における杵築市産品のメニュー展開

大分県内の飲食店やホテル・旅館等において、杵築ブランド認定品を始めとする杵築市産品を使用したメニュー展開を実施した。実施場所を別府市上田の湯町のホテル白菊とし、朝食ビュッフェ及びティーラウンジでオレンジ農園の「かぼすジンジャーハニー」、きつき紅茶の「きつき紅茶各種（匂い桜花入り・べにふうき・べにひかり）」が飲料として提供された。また、きつき紅茶を原料としたマカロンもデザートとして提供された。さらに、ホテル内土産物売場においては、ホテル白菊が希望した事から店内中央に杵築市コーナーを特設し、11事業者22品の集合販売を行った。土産物として販売された産品に関する詳細は以下のとおりである。

表ー3 土産物店販売商品リスト

事業者名	商品名	商品価格 (税込)
綾部味噌醸造元	かぼす味噌	842円
	特製 麦味噌（粒）	648円
	特製 あわせ味噌	648円
今村農園	おひさまきらりんジュース	1400円
お茶のとまや	煎茶「杵築城」	1300円
オレンジ農園	かぼすポン酢	648円
	かぼすジンジャーハニー	972円
きつき紅茶	きつき紅茶 匂い桜花入り ティーバッグ	400円
	きつき紅茶 べにふうき ティーバッグ	400円
	きつき紅茶 べにひかり ティーバッグ	400円
木付や	きつきシャリ羊羹	756円
	きつき抹茶シャリ羊羹	864円
高橋水産	別府湾かちえび	832円
	別府湾焼きえび	832円
中野酒造	智恵美人 純米酒	—
	智恵美人 蔵元漬け（なら漬け）	648円
豊予農場	ほっとみかんジュース	864円

松山堂	みそまんじゅう	270 円
	三万二千石	184 円
	ゆき笹 (もなか)	194 円
みろく酒造	十王 (芋焼酎)	—
みろく酒造	十王 (麦焼酎)	—

2. 自主事業

杵築ブランド事業部として、市内産品の販売を行った。

市内事業者及び地域商社の恒常的かつ持続的な売上確保という観点から、「受託事業においてフェアを実施し、市内産品を販売する」という取組から脱却し、土産物店などへの販売、ふるさと納税及び EC サイトなどにおける販売への転換を計った。

令和 2 年度の実績は以下のとおりである。

(単位：千円/税込)

	令和 2 年度	令和元年度	増減	前年対比
売上高	13,710 千円	10,535 千円	3,175 千円	130.1%
荒利益高	2,576 千円			
荒利益率	20.4%			
受託事業による売上高	995 千円	5,419 千円	▲4,424 千円	18.4%
受託事業以外の売上高	12,745 千円	5,116 千円	7,629 千円	249.1%

令和 2 年度取引先 (五十音順)

販売先 (22 社)

- ・ 海地獄
- ・ エールジャパン
- ・ 大分航空ターミナル
- ・ 大分農業文化公園
- ・ 大木化粧品
- ・ 風の郷
- ・ 杵築市 (ふるさと納税)
- ・ 杵築市観光協会 (和楽庵)
- ・ 杵築ふるさと産業館
- ・ 紀ノ國屋

- ・グローバルフーズ
- ・千咲（衆楽観）
- ・玉の湯
- ・中部国際空港
- ・峠たていしの館
- ・錦屋商事
- ・ホテル白菊
- ・松山堂
- ・ヤマエ久野（ゆめタウン）
- ・リ・クリエイト（別府湾サービスエリア）
- ・OKATTE
- ・OH！

仕入先（31社）

- ・綾部味噌醸造元
- ・伊藤園
- ・今村商店（お茶のともや）
- ・今村農園
- ・大分農業文化公園
- ・岡本商工（萬力屋）
- ・オレンジ農園
- ・神田楽市
- ・絆屋
- ・きつき紅茶
- ・杵築七島蘭マイスタークラブ
- ・きつき茶生産組合
- ・杵築ふるさと産業館
- ・木付や
- ・木戸農園
- ・九州乳業
- ・河野打刃物店
- ・椎茸問屋 徳一
- ・新庄農地利用組合
- ・森美
- ・高橋水産

- ・中野酒造
- ・豊予農場
- ・松山堂
- ・宮部商店（焼肉みやべ）
- ・みろく酒造
- ・山香ゆうきの会
- ・若栄屋
- ・A コープ 山香店
- ・JA おおいた東部事業部
- ・JA フーズおおいた

II. ふるさと納税事業部

1. 受託事業（商工観光課業務）

1) 令和2年度の寄附実績について

令和2年度の杵築市ふるさと納税の寄附額は6億8千万円超であった。96%以上の寄附の受付がポータルサイト経由となり、「ふるさとチョイス」、「楽天市場ふるさと納税」、「さとふる」、「ふるなび（令和2年10月オープン）」計4つのポータルサイトを包括代行業務の一環として運用を行った。

きっとすきがふるさと納税事業の受託開始した令和元年度の実績が約4億1千万円であったため、前年度比は約165%となり各ポータルサイトからの寄附額はどれも増加傾向であった。

①令和2年度に行った施策

①-1 新規返礼品提供事業者開拓

令和2年度は下記のとおり新規開拓を行った。

新規開拓事業者数：10

- ・宮部商店（焼肉みやべ）
- ・かどフラワー
- ・藤田商店
- ・Stand-7（和菓子 木付や）
- ・株式会社豊後夢大陸
- ・山浦地区まちづくり推進協議会
- ・一財 杵築市総合振興センター（杵築ど〜んとテレビ）
- ・清水ふあ〜む
- ・株式会社デンケン
- ・JA 東部事業部 農業振興部 園芸課

①-2 返礼品開発及びポータルサイトへの掲載

新規開拓を行った事業者の返礼品開発だけでなく、既存事業者においても新たな返礼品の開発を行った。

以前から取扱いのあった各事業者の主力商品に限らず、現時点では需要が少ないながらも可能性を秘めた商品や、寄附者が手に取りやすい量目の商品、定期配送が人気の頒布会といった商品の開発を、事業者と密にコミュニケーションをとりながら行い、ポータルサイトを訪れる寄附者に幅広い品揃えを用意した。

年末、12月31日時点での各ポータルサイトの返礼品掲載数は下記のとおりであった。

ふるさとチョイス・・・623品

楽天市場・・・408品

さとふる・・・277品

ふるなび・・・496品

①-3 サイト掲載用写真の撮影・加工

きっとすきにて専属のカメラマンによる特産品の写真撮影を毎月1回程の頻度で行い、ポータルサイト掲載写真の用意がむずかしい事業者のサポートを行った。

令和2年度は約2600枚を撮影し、撮影した写真は専用の画像編集用ソフトウェアを用いて加工し、迅速にポータルサイトにアップした。

①-4 農林水産省の補助事業を活用した返礼品の開発

農林水産省の補助事業「令和2年度品目横断的販売促進緊急対策事業（うち地域の創意による販売促進事業）」を活用し、通常より金額に対して量目の多い返礼品として「おおいた豊後牛切り落とし1.2kg（寄附金額：10,000円）」の開発を行った。

当該返礼品はふるさとチョイス限定品「ニコニコエール品」として10月22日（木）～11月21日（土）の1か月間掲載予定であったが、10月22日（木）～10月28日（水）のわずか7日間で規定数の600件申込があり、受付を終了することとなった。

きっとすきでは返礼品の掲載作業だけでなく、事業実施者の株式会社神田楽市が補助金申請及び事業完了報告を行う際に必要な資料準備のサポートも行った。

【ニコニコエール品概要】

掲載返礼品：おおいた豊後牛切り落とし1.2kg（600g×2パック）

寄附金額：10,000円

提供事業者：株式会社神田楽市

2-5 チラシの作成及び配布

令和2年度は販促活動としてふるさと納税応援パンフレット（チラシ）を計10,000部3種類（夏号、秋号、冬号）作成し、配布を行った。

仕様・規格

- ・サイズ：A4判縦仕上がり（A3二つ折り）
- ・ページ数：4ページ
- ・印刷方法：フルカラー

2) 次年度に向けて

次年度は、令和2年度に運用した「ふるさとチョイス」、「楽天市場」、「ふるなび」、「さとふる」4つのポータルサイトそれぞれの特色を捉えた広告展開や、成長力に応じた返礼品ページの強化を行うことで、ふるさと納税事業の発展に寄与し、寄附額の伸長を期す。そのためには、各ポータルサイト担当者との連携をとりながらマーケットの動向を捉え、関係機関との協力の上で年間の戦略を立てる必要がある。

地域商社としての利点を生かし、杵築ブランド事業部と密に連携し、返礼品提供事業者との良好な関係を今後も維持しながら、ふるさと納税事業の発展を通して実寄附額の伸長の実現に向けて邁進する。

2. 受託事業（農林水産課業務）

1) 杵築産ハモ販路開拓支援業務

<事業の目的>

新型コロナウイルス感染症対策による自粛要請等で、県下トップクラスの漁獲量を誇るハモの流通が低迷している中、新たな流通確保のため積極的な営業活動等を行い、杵築産ハモの宣伝及び特産品としての知名度向上と、大分県内での消費拡大を推進する。

<実施内容>

① 内覧会への市内関連事業者の招待

令和2年9月16日に新工場で開催された「内覧会」に市内スーパー2店の鮮魚販売業者2社を招待し、加工工場の概要を説明のうえテスト販売への協力を要請した。

② 市内飲食店への試供品の提供とテスト販売の実施

市内イタリアンレストラン「PIENA」オーナー藤原氏と交渉し、サンプルを試供することで、オリジナルメニューを開発。約2か月間の実販売によって、商品力と卸価格の妥当性を探った。

また、同店ではオリジナルメニューとオリジナルポスターを制作し、市民及び観光客へ新工場開設と「杵築産のハモ」のPRに繋がった。

③ テレビメディアによる強力な情報拡散

TOS エンタープライズと協働し、前述のPIENAにおけるメニュー展開をフックに、9月25日の「ゆ〜わくワイド」内で約10分の食レポオンエアーを実現。県内への強力な情報拡散に繋がった。

また、同社が行っている「海と日本プロジェクト」と連携で、大分県での取組の一環として、同工場設立の意義や今後の展望など漁協視点での番組構成を実現。

内覧会の模様や中根委員長インタビュー、さらにはPIENAでの期間限定メニュー紹介などの5分特番を10月26日TOSにてオンエアーした。

④ 県主催のドローン物流実証実験への食材提供（ハモしゃぶセット）による、新聞・テレビへの大型パブリシティの実現

令和2年12月、『杵築ん鱧』のサンプル販売で協力を頂いている、山香町の商業施設『神田楽市』からスポーツ合宿施設「上村の郷」までの間をドローンを使って物を運ぶ実証実験が大分県主催にて行われた。

当日はハモ鍋の食材を運搬し、「空飛ぶハモ鍋」として披露。

参加者が実食するなどのイベントを開催し、大分県内外から約100名の見学者が参加。マスコミにも多数とりあげられ『杵築ん鱧』のPRに貢献した。

⑤ 市内スーパーへのサンプル提供とテスト販売の実施

以下3店舗にサンプルを各20kg試供し、各店の意向に添ったテスト販売を行い、商品力並びに卸価格の検証を行うと同時に、商品の実卸に繋がった。

・Aコープ杵築本店 ・株式会社神田楽市 ・スーパーコマツ

⑥ 別府旅館ホテル組合連合会理事会における冷凍ハモの試食会の実施

別府の旅館ホテルへの杵築産冷凍ハモの販路開拓に向けた、同連合会（会長西田陽一 ホテル白菊代表取締役社長）の協力を得るため、同理事会で9月24日会場であるホテル白菊の総料理長の協力を得、当日活べした骨切りハモと同商品を真空プロトン冷凍し

た製品を3種のメニューとして調理・提供してもらい、理事会メンバーに食べ比べてもらった。

同時に同製品の開発意図や今後の展望などのプレゼンテーションを実施した。

⑦ 県内旅館ホテル約50軒に対するサンプルの提供とアンケート調査

別府旅館ホテル組合連合会の事務局（事務局長富来昌博）の協力を得て、会員施設100軒の内、有力旅館・ホテル約50軒を選択し、サンプル送付及び試食アンケートを実施した。

当初は対面での商談を実施する予定であったが、緊急事態宣言の発令で対面での接触が困難となったためやむなくこの手法をとった。対面ヒアリングと比べての情報の希薄性を補うため、アンケートを拡充し、杵築産のハモの販路開拓、さらにはコロナ禍で低迷する杵築市産品の県内でのポテンシャルティーの検証に直結する内容とした。

2) 県外大学生等へのふるさと特別便支援事業

<事業の目的>

親元（杵築）を離れた学生等が、新型コロナウイルス感染対策による移動制限で帰郷できない状況が生じた。一方で飲食店の営業自粛等により、農家初め市内の事業者の出荷額は落ち込んでいる。そこで市は困窮する市内生産者から仕入れた地元産品をふるさと特別便として希望者に送付し、帰省できない学生の支援と市内事業者の支援策の両立を実施した。

<実施内容>

①ふるさと特別便の設計

杵築の産品（米、みかんジュース、お茶ティーバッグ、レトルトカレーなど）で約5,000円の特別便を企画設計した。

②市内事業者と交渉し、上記商品を集荷、梱包、配送のハブ機能を担った。

結果、令和2年6月19日から7月15日にかけて、計192人の杵築外移住者に配送業務を行った。

県内旅館ホテルサンプル提供一覧

NO	種 別	施 設 名
1	旅館	おにやまホテル
2	旅館	ホテル白菊
3	旅館	悠彩の宿望海
4	旅館	AMANE RESORT SEIKAI
5	旅館	割烹旅館千成
6	旅館	別府温泉テラス御堂原
7	旅館	べっふ好楽
8	旅館	旅亭松葉屋
9	ホテル	ANAインターコンチネンタルホテル別府リゾート&スパ
10	ホテル	城島高原ホテル
11	ホテル	ホテルアーサー
12	旅館	竹と椿の宿花べっふ
13	旅館	べっふ野上本館
14	ホテル	ホテルサンバリーアネックス
15	旅館	ホテル芳泉鶴
16	旅館	くつろぎの宿山田別荘
17	旅館	シーサイドホテル美松大江亭
18	ホテル	REX HOTEL別府
19	旅館	天空湯房 清海荘
20	ホテル	ホテルS E A W A V E 別府
21	ホテル	杜の湯リゾート
22	旅館	糸びすや旅館
23	旅館	豊前屋旅館
24	旅館	若杉旅館
25	旅館	ホテル風月HAMMOND
26	旅館	いで湯の宿丸神屋
27	旅館	萬力屋
28	旅館	旅館入舟荘
29	旅館	大黒屋
30	旅館	みかさや
31	旅館	旅館みゆき屋
32	旅館	しんきや旅館
33	旅館	湯の里葉山
34	旅館	別府おぐら
35	旅館	かなわゆの香
36	旅館	灯りの宿燈月
37	旅館	湯元かなわ荘
38	ホテル	別府亀の井ホテル
39	旅館	温泉閣
40	食事施設	若栄屋
41	食事施設	レストランPiena
42	食事施設	寿司・割烹・幸喜屋
43	旅館	灯りの宿燈月2
44	旅館	灯りの宿燈月3
45	旅館	灯りの宿燈月4
46	旅館	灯りの宿燈月5
47	旅館	湯布院ほてい屋
48	旅館	湯布院かほりの郷はな村

III. ドローン事業部

1. 自主事業

①ドローン検定講習会

国土交通省認定機関の検定講習会を2日間の日程にて7月・9月・11月に実施。
15名参加。1日目の学科講習に関してはZoomを使ったオンラインで実施した。
2日目の実技講習は杵築市山香『上村の郷』にて実施した。
コロナ禍の中、感染症対策を講じながら新たな手法にて実施した。

②大分県ドローン物流活用推進事業

12月8日(火)~12(土)にかけて、山香地区にて地域社会実装を見据えたドローン物流の実証実験をブルーイノベーション株式会社、株式会社オーイーシーと協働にて行った。11日(金)は山香中学校へ大型カーゴドローンによる大量輸送、12日(土)はハモ鍋セットを神田楽市から上村の郷まで運んだ。2つのユースケースにおいてドローンによる物流の採算性の検証を行った。また当日は大人向けにドローン物流講義・子供向けにドローン操縦体験も同時に行い、県内外から約100名が参加された。この模様は大分合同新聞及びドローン関連メディアに掲載された。

③ドローン講師派遣

- ・6月山香グローバル塾(公民館事業)対象児童30名に対してドローン操縦体験会を実施した。大分合同新聞に掲載された。
- ・2月山香山浦地区の小中学生20名に対してドローン操縦体験会を実施した。この模様はケーブルテレビにて放送された。
- ・6月八坂小学校3年生社会科授業『自分たちの地区を空から見てみよう』にてドローン映像をリアルタイムにモニターに映し出し児童が見学した。
- ・昨年度に引き続き『おおいた青少年総合相談所』との連携に基づき、4月と11月に『ひきこもり』の当事者及び保護者に対して、ドローン講・操縦体験を行った。

弊社のドローンを使った福祉面での取組が2月27日(土)TOS『ほっとハート大分』で放送された。

④ドローン空撮と編集

『豊予農場』のPR用に空撮とデータの編集を請け負い、完成品を納品した。
ふるさと納税返礼品サイトでも紹介され寄付額アップの相乗効果も生まれた。

弊社 YouTube チャンネルに登録済。

KDT制作『おかえりの唄』PR動画にて空撮映像資料として素材を提供した。

⑤ドローン販売

DJI 社製ドローン6台・ドローンサッカー用機体1台を販売した。

⑥ドローンプログラミング教育

1月山香中学校全校生徒150名に対してドローンを使ったプログラミング授業を株式会社OECと共同で行った。全校生徒への大規模なドローン操縦&プログラミングによる自動操縦体験は日本初であり、新中学校学習指導要領にも追加される『ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題の解決』を実践した取組みでもあった。大分合同新聞・ケーブルテレビで報道された。

⑦ふるさと納税返礼品にドローン操縦体験

6月にふるさと納税の返礼品にドローン操縦体験プランを発表した。

プランは90分(寄付額5万円)と3時間(同10万円)の2種類。会場は『上村の郷』

発表当初に2組の参加があった。

大分合同・朝日・読売・別府今日の新聞各社に掲載された。

IV. その他

①「おかえりの唄」プロジェクトの総合プロデュース

南こうせつさんの「おかえりの唄」のプロモーションビデオをドローン事業部の映像素材をフル活用し、杵築市民の出演協力を得て、杵築ど〜んとテレビが制作、その総合プロデュースを行った。

同プロジェクトは下記メディアで大きく取り上げられ直接・間接的に杵築市の情報拡散に寄与し、今後の発展性も合わせ、杵築市の価値向上に大きく貢献した。

- ・大分合同新聞 3月16日 大分合同新聞 4月10日
- ・NHK大分 3月15日 報道枠ニュース2分×3回
- ・TOS 3月15日 ニュース枠 2分
- ・OBS 4月3日 カボスタイム 4分
- ・NHK大分 4月15日 報道枠特集 7分×3回
- ・KBC九州朝日放送 5月13日 アサデス7 14分 九州全県&山口
- ・読売新聞 6月3日

令和2年度

株式会社	きつとすき
財務	諸表

貸借対照表

商号 (株) きつとすき

令和 3年 3月31日現在

代表者 大蔵 賢

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
I 流 動 資 産	(47,998,605)	I 流 動 負 債	(20,149,770)
現金及び預金	20,683,205	買掛金	11,971,742
売上掛金	26,843,434	未払法人税等	4,267,196
たな卸資産	576,716	未払消費税	725,700
貸倒引当金	2,150	未払預り	3,250,400
	△ 106,900		-65,268
II 固 定 資 産	(5,643,681)	II 固 定 負 債	(12,172,928)
有形固定資産	(5,643,681)	長期借入金	8,000,000
工具、器具及び備品	1,709,985	長期未払金	4,172,928
	3,933,696		
無形固定資産	(0)		
		負債の部合計	32,322,698
投資その他の資産	(0)	(純 資 産 の 部)	
		I 株 主 資 本	(21,319,588)
		1. 資 本 金	4,500,000
		2. 資 本 剰 余 金	(0)
		3. 利 益 剰 余 金	(16,819,588)
		(1) そ の 他 利 益 剰 余 金	(16,819,588)
		繰越利益剰余金	16,819,588
		II 評 価 ・ 換 算 差 額 等	(0)
III 繰 延 資 産	(0)	III 新 株 予 約 権	(0)
		純 資 産 の 部 合 計	21,319,588
資 産 の 部 合 計	53,642,286	負 債 ・ 純 資 産 の 部 合 計	53,642,286

損益計算書

令和 2年 4月 1日から
令和 3年 3月31日まで

商号 (株) きつとすき

(単位：円)

科 目	金 額		
I 売業上高 業務委託高 商品売上高 ドロオン事業売上	181,626,061 11,661,760 2,530,540	195,818,361	195,818,361
II 売期上原価 商首たな卸高 外品仕入高 合末たな卸費 期上総利計 売高費 売上益	149,360,981 194,000	226,974 149,554,981 149,781,955 316,716	149,465,239 46,353,122
III 販売費及び一 販売費及業 管費 理費 費益		41,837,014	41,837,014 4,516,108
IV 営業外収 受貸倒引当 雑金戻 入		131 99,100 4,197,057	4,296,288
V 営業外費 支貸倒引当 金繰 入		17,380 106,900	124,280
経常利益			8,688,116
VI 特 別 利 益		0	0
VII 特 別 損 失		0	0
税引前当期純利益 法人税、住民税 当期純利益		1,947,700	8,688,116 1,947,700 6,740,416

販売費及び一般管理費の計算内訳

令和 2年 4月 1日から

令和 3年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額
旅 費	34,817
廣 告	69,455
容 器	216,716
荷 造	350,349
支 払	163,870
販 売	5,203,596
諸 員	37,909
役 料	6,000,000
給 業	17,042,946
従 定	1,820,000
法 厚	3,881,276
減 価	130,490
リ 一	1,368,663
地 代	45,600
修 繕	169,086
事 用	112,000
通 信	700,868
水 道	530,055
租 税	176,363
接 待	91,970
保 交	82,053
備 品	32,240
管 理	2,722,477
車 輛	587,200
雑 費	147,568
合 計	119,447
	41,837,014

たな卸資産の計算内訳

令和 3年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額
商 品	316,716
貯 蔵	260,000
合 計	576,716

株主資本等変動計算書

商号 (株) きつとすき

令和 2年 4月 1日から
令和 3年 3月31日まで

(単位：円)

I 株主資本			
1. 資 本 金	当期首残高		4,500,000
	当期変動額		<u>0</u>
	当期末残高		<u>4,500,000</u>
2. 利益剰余金			
(1) その他利益剰余金			
繰越利益剰余金	当期首残高		10,079,172
	当期変動額		
	当期純利益	<u>6,740,416</u>	<u>6,740,416</u>
	当期末残高		<u>16,819,588</u>
その他利益剰余金合計			
	当期首残高		10,079,172
	当期変動額		
	当期純利益	<u>6,740,416</u>	<u>6,740,416</u>
	当期末残高		<u>16,819,588</u>
株主資本合計			
	当期首残高		14,579,172
	当期変動額		
	当期純利益	<u>6,740,416</u>	<u>6,740,416</u>
	当期末残高		<u>21,319,588</u>
II 評価・換算差額等			
	当期首残高		0
	当期変動額		<u>0</u>
	当期末残高		<u>0</u>
III 新株予約権			
	当期首残高		0
	当期変動額		<u>0</u>
	当期末残高		<u>0</u>
純資産の部合計			
	当期首残高		14,579,172
	当期変動額		
	当期純利益	<u>6,740,416</u>	<u>6,740,416</u>
	当期末残高		<u>21,319,588</u>

個別注記表

令和 2年 4月 1日から
令和 3年 3月31日まで

I. この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

II. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。

III. 貸借対照表等に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額 3,097,959円

IV. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済株式総数 45株

V. 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり純資産額は、473,768.62円であります。

2. 一株当たり当期純利益は、149,787.02円であります。

以 上

